

「高齢者実態調査」及び「介護事業所調査」 結果報告（抜粋）

＝平成23年度第2回高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会資料＝

平成23年7月14日

健康福祉部 長寿支援課・介護保険課

目 次

	ページ
調査の概要	3
1. 世帯状況について	5
2. 日常生活について	8
3. 社会参加について	12
4. 健康状態、健康づくり、介護予防について	16
5. 要介護の原因等について	20
6. 在宅介護について	24
7. 家族介護者について	27
8. 介護保険サービスと保険料について	30
9. 新たなサービスのニーズについて	34
10. 介護従事者の安定確保について	39
11. 防災対策について	48

調査の概要

I. 高齢者実態調査

1. 調査の目的

「久留米市第5期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けて高齢者福祉及び介護保険事業の施策形成の基礎資料とするため、高齢者の状況や意識等に関するアンケート調査を実施いたしました。

2. 調査対象・方法等

(1) 調査対象者、回収状況

平成22年12月22日現在久留米市在住の高齢者（65歳以上）の中から無作為抽出

調査区分	高齢者数（人）	対象者数（人）	有効回収数（人）	回収率（%）
①一般高齢者	53,407	3,485	2,198	63.1
②要支援者	3,059	804	540	67.2
③要介護者	9,250	1,502	725	48.3
合計	65,716	5,791	3,463	59.8

※一般高齢者とは … 要支援・要介護の認定を受けていない高齢者。

※要支援者とは … 要介護状態には該当せず、身体上又は精神上的の障害があつて、日常生活を営むのに支障があると見込まれる状態（生活機能が改善する可能性が高い）と認定された被保険者。

※要介護者とは … 身体上又は精神上的の障害があつて、入浴、排泄、食事等の日常生活における基本的な動作の全部又は一部について、常時介護を要すると見込まれる状態と認定された被保険者。

(2) 調査方法 郵送配付、郵送回収（無記名）

(3) 調査期間 平成23年1月18日～2月3日（14日間）

Ⅱ. 介護事業所調査

1. 調査の目的

「久留米市第5期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、介護サービス事業所及び運営法人の現状と課題や制度改正により創設される新サービスへの需要見込み、参入意向を把握するために実施いたしました。

2. 調査対象・方法等

(1) 調査対象、回収状況

調査区分		対象数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)
事業所	在宅系サービス事業所	242	205	84.7
	施設系サービス事業所	88	81	92.0
	居宅介護支援事業所	75	71	94.7
	事業所計	405	357	88.1
事業所の運営法人		171	131	76.6
合計		576	488	84.7

※H22年12月末時点の事業所数（H22年8月～10月の間にサービス提供実績がない事業所を除く）

※在宅系サービス事業所…居宅からの通所（デイサービス等）及び居宅への訪問を受けて利用するサービス（ホームヘルプ等）を提供する事業所

※施設系サービス事業所…居宅での生活が困難な方が入所して日常生活上の支援や介護が受けられる施設（特別養護老人ホーム、グループホーム、老人保健施設等）

※居宅介護支援事業所…在宅系サービスを受けるうえで必要なケアプランを作成する事業所

(2) 調査方法 郵送配付・回収（記名式）

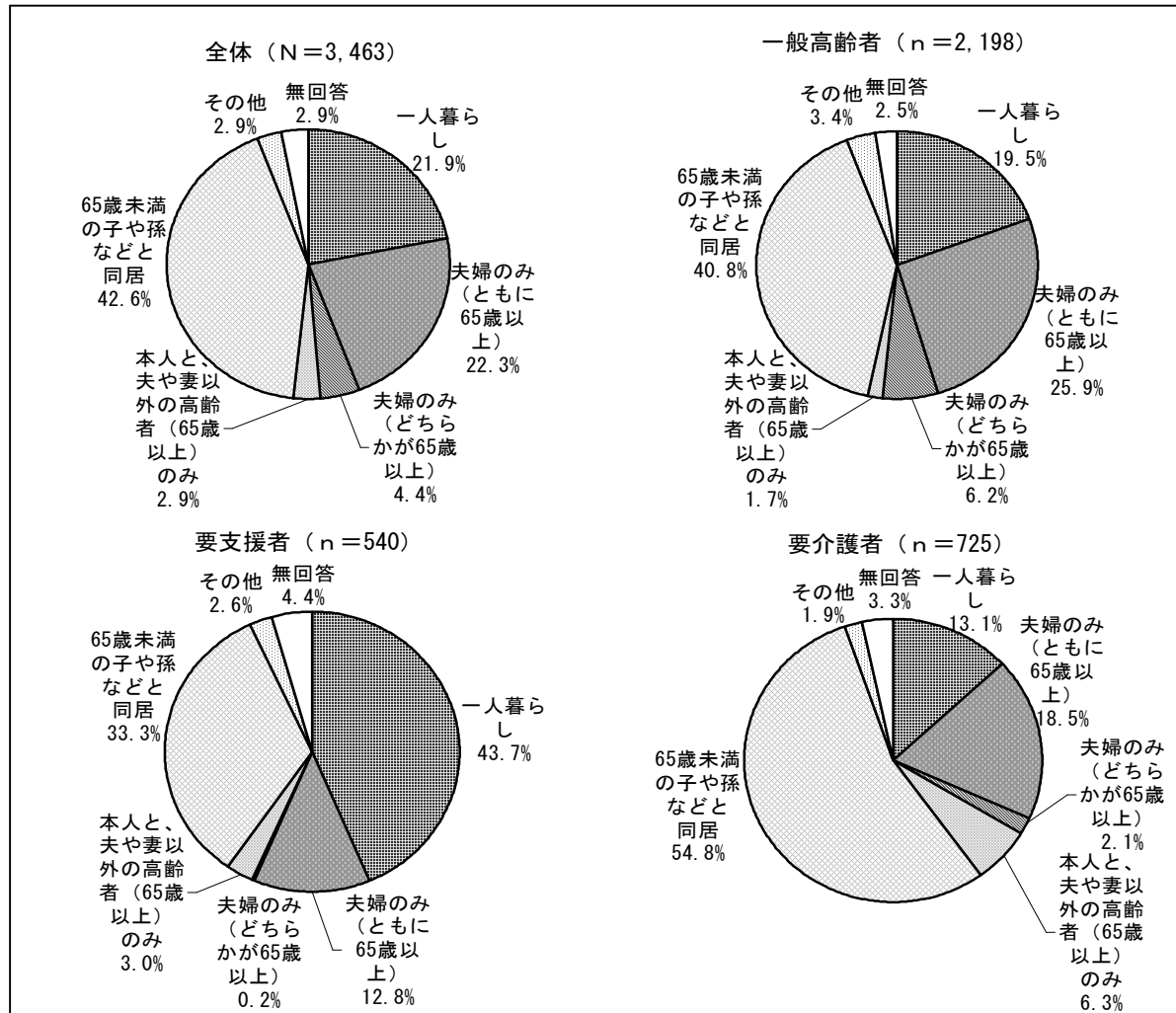
(3) 調査期間 平成23年2月28日～3月15日（16日間）

1. 世帯状況について

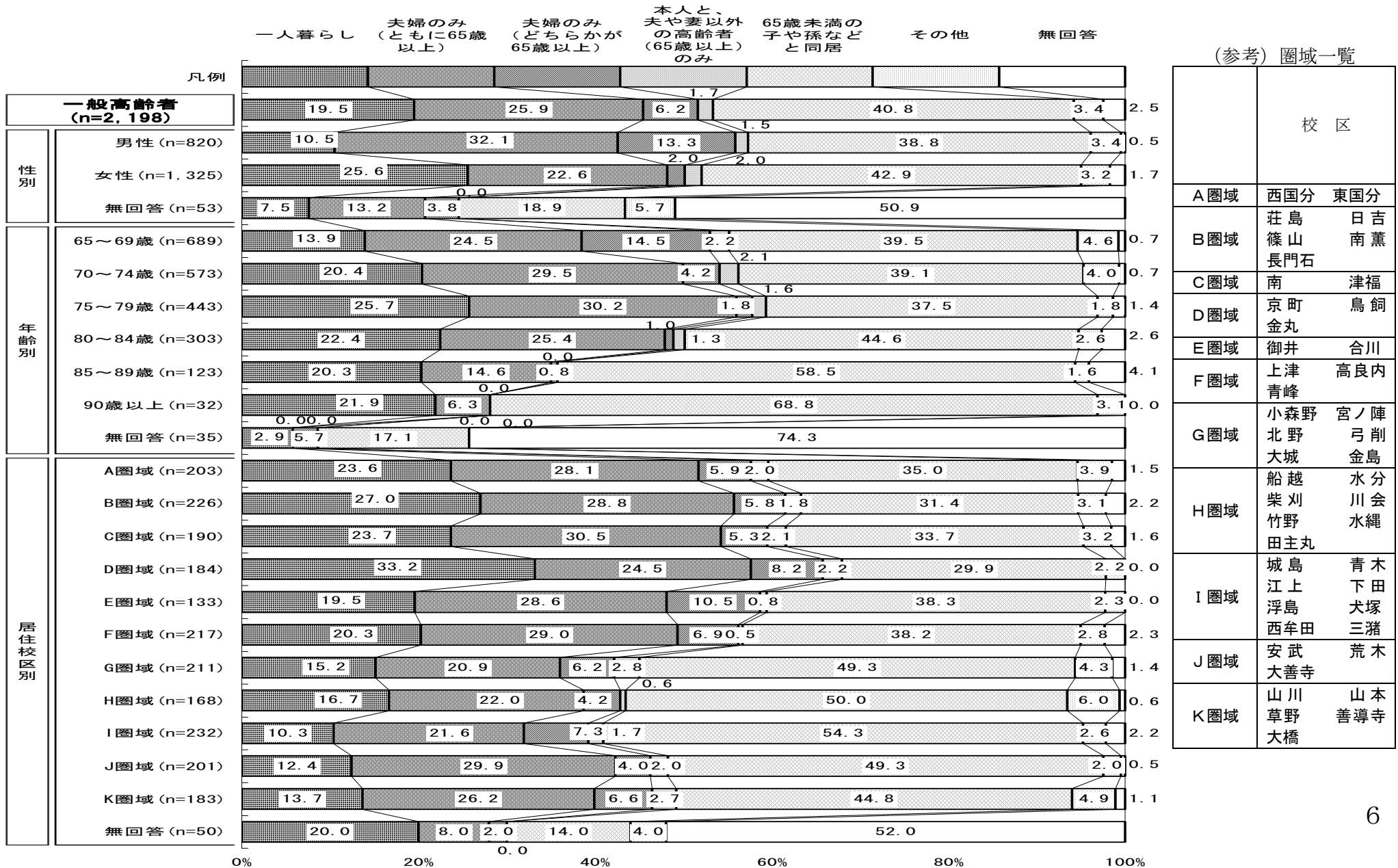
(1) 世帯状況 (高齢者実態調査P. 7)

あなたの世帯の状況をお答えください。(○は1つだけ)

[一般高齢者・要支援者・要介護者：問4]



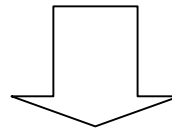
(2) 性別・年齢別・居住校区別 世帯状況 (一般高齢者) (高齢者実態調査報告書 P.8)



調査結果から見えてくる現状と課題（世帯状況）

- ①高齢者のみ世帯（一人暮らし、夫婦のみ（ともに65歳以上）、本人と夫や妻以外の高齢者（65歳以上のみ））
 - ・【一般高齢者】の約5割、【要支援者】の約6割、【要介護者】の約4割を占める。
 - ・日常生活圏域別では、市の中心部であるA～D圏域の割合が高く、周辺部の圏域では比較的低い。
- ②高齢者一人暮らし世帯
 - ・要支援者の約44%は一人暮らし高齢者である。
 - ・性別では女性が男性を上回っている。
 - ・日常生活圏域別では、高齢者のみ世帯と同様に市の中心部の割合が高い。

* 今後も、高齢者のみ・高齢者一人暮らし世帯の増加が続くと予想される。



《課題》

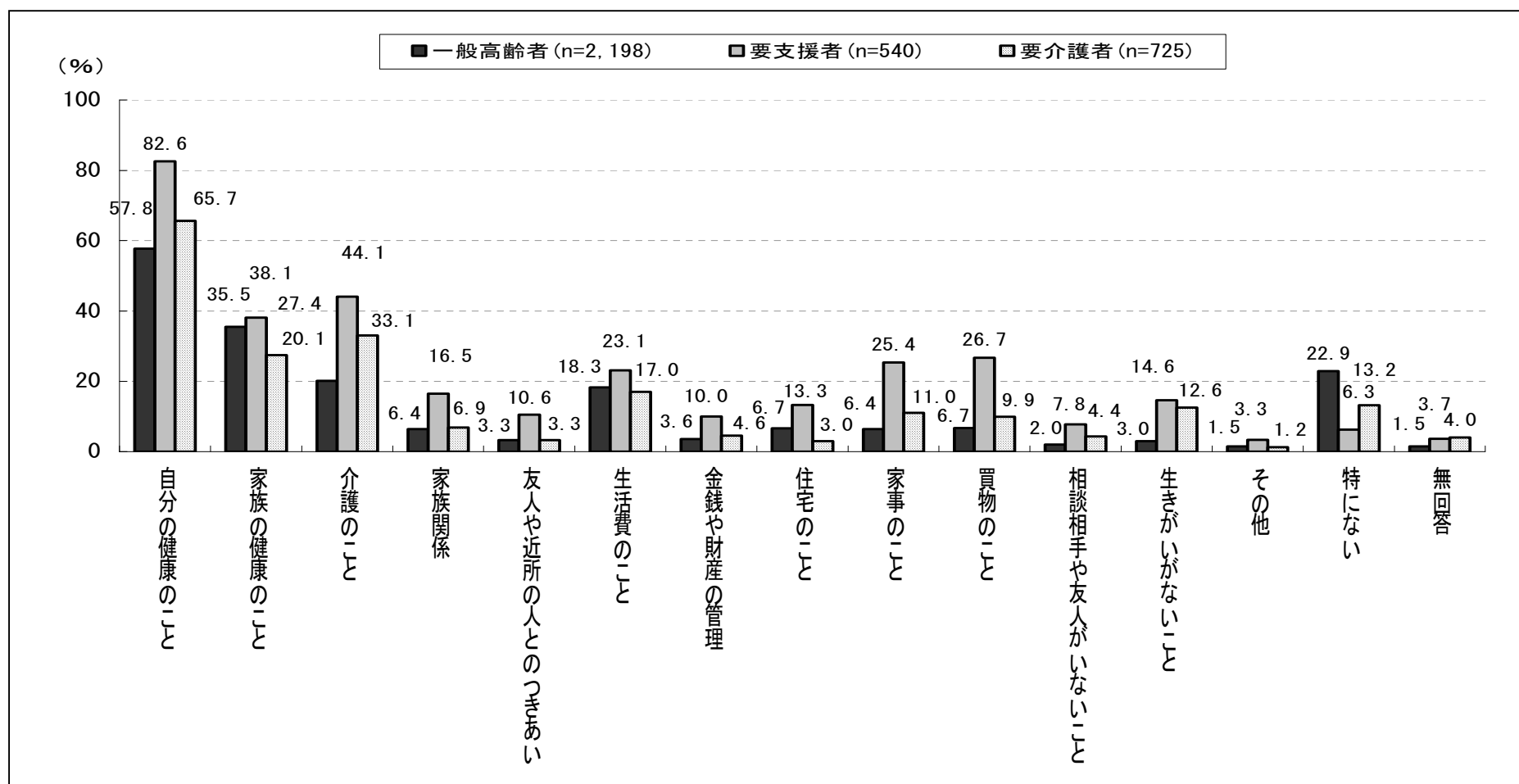
- ◎高齢者が住みなれた地域で自立して生活できる地域包括ケアの推進。
- ◎高齢者のみ世帯、高齢者一人暮らし世帯への見守り等の地域と連携した支援。

2. 日常生活について

(1) 心配事や悩み（高齢者実態調査 P. 27）

あなたは、現在次のような心配事や悩みがありますか。（あてはまるものすべてに○）

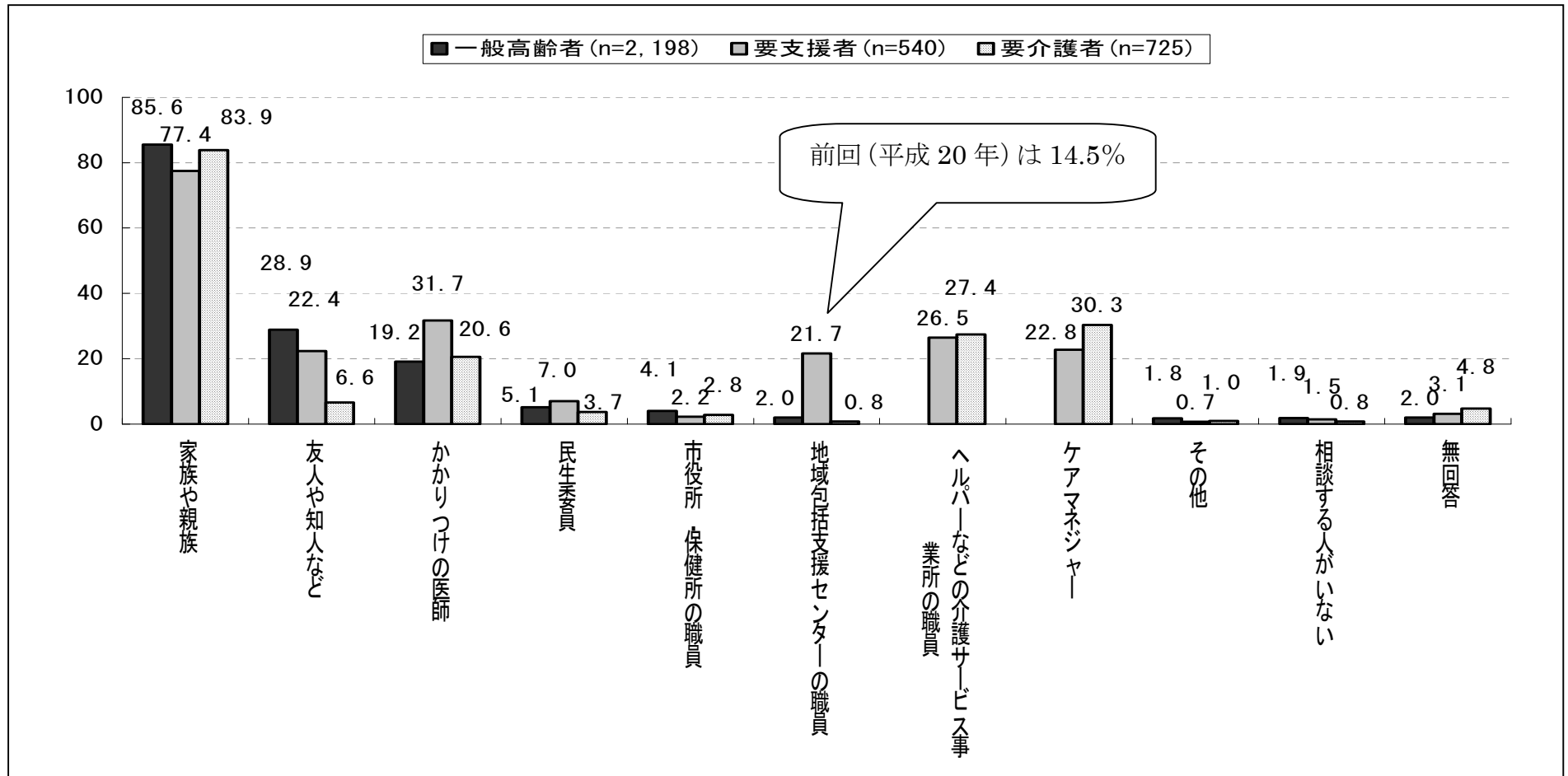
〔一般高齢者：問6、要支援者：問9、要介護者：問8〕



(2) 相談相手 (高齢者実態調査 P. 29)

あなたは、心配事や悩みごとが出来た場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。
(あてはまるものすべてに○)

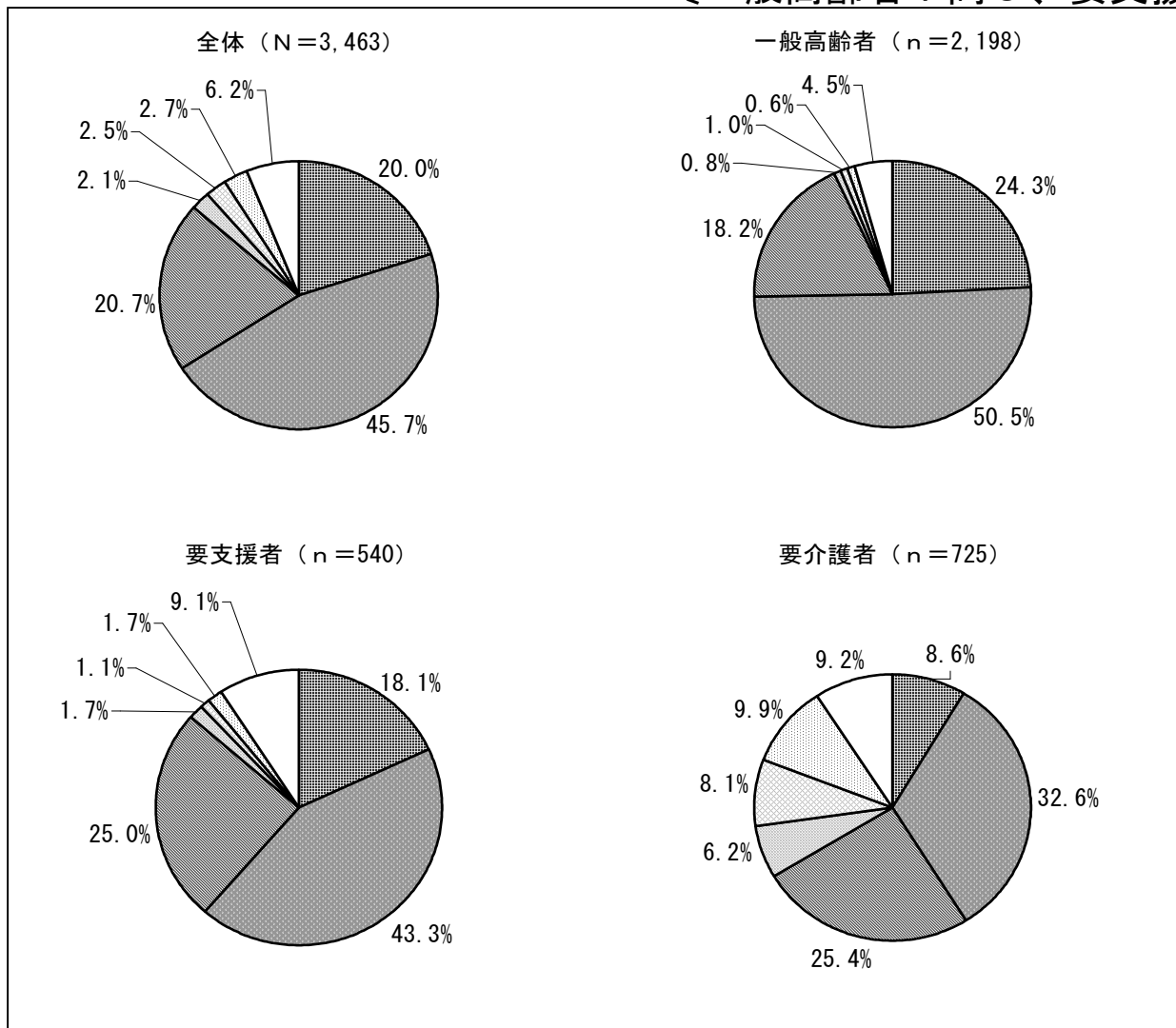
[一般高齢者：問7、要支援者：問10、要介護者：問9]



(3) 近所づきあいの程度 (高齢者実態調査 P. 43)

あなたは、近所の人とどの程度つきあいをしていますか。(〇は1つだけ)

[一般高齢者：問9、要支援者：問12、要介護者：問11]



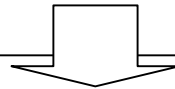
- 家を行き来するなど親しくつきあっている
- 外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている
- あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない
- ほとんどあいさつもしない
- 近所に誰がいるのかわからない
- その他
- 無回答

前回(平成20年)は、「家を行き来するなど親しくつきあっている」は、一般高齢者29.0%、要支援者21.0%、要介護者9.3%

調査結果から見えてくる現状と課題（日常生活について）

①日常生活状況

- ・ 心配事の第一位は全区分で自分の健康のことである。
- ・ 相談相手は家族や友人以外では医師やケアマネなどの医療・介護関係者の割合が高く、【要支援者】は地域包括支援センターを相談相手とする割合が高い。
- ・ 近所づきあいの状況では全区分で「家を行き来するなど親しく付き合っている」が、前回と比較し減少している。



《課題》

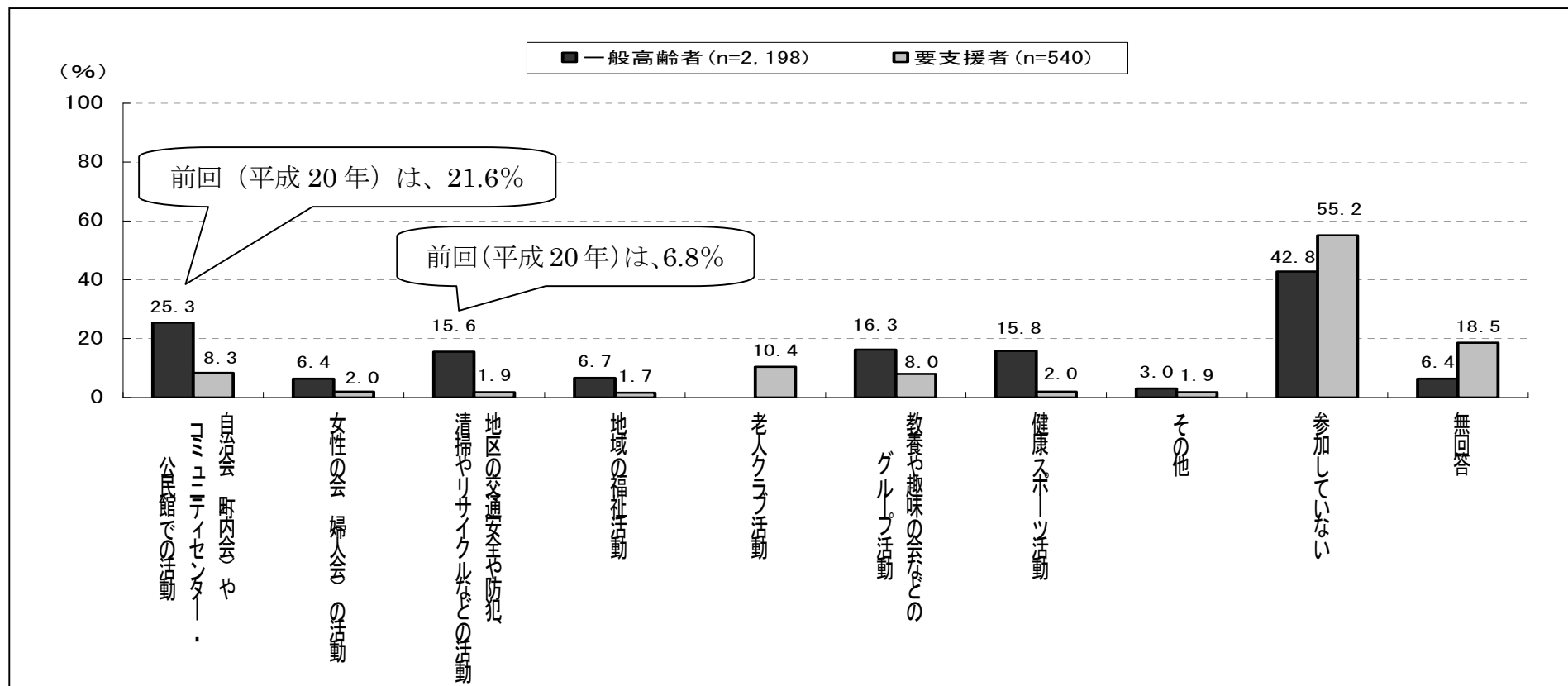
- ◎地域包括支援センター、サービス事業者、医療機関、民生委員、老人クラブ、自治会、ボランティア等、高齢者の相談に対応するネットワークの構築。
- ◎高齢者の孤立化を防止する、地域と連携した支援の取組み。

3. 社会参加について

(1) 地域活動への参加状況（高齢者実態調査 P. 49）

次のような地域活動などに参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

〔一般高齢者：問11、要支援者：問14〕

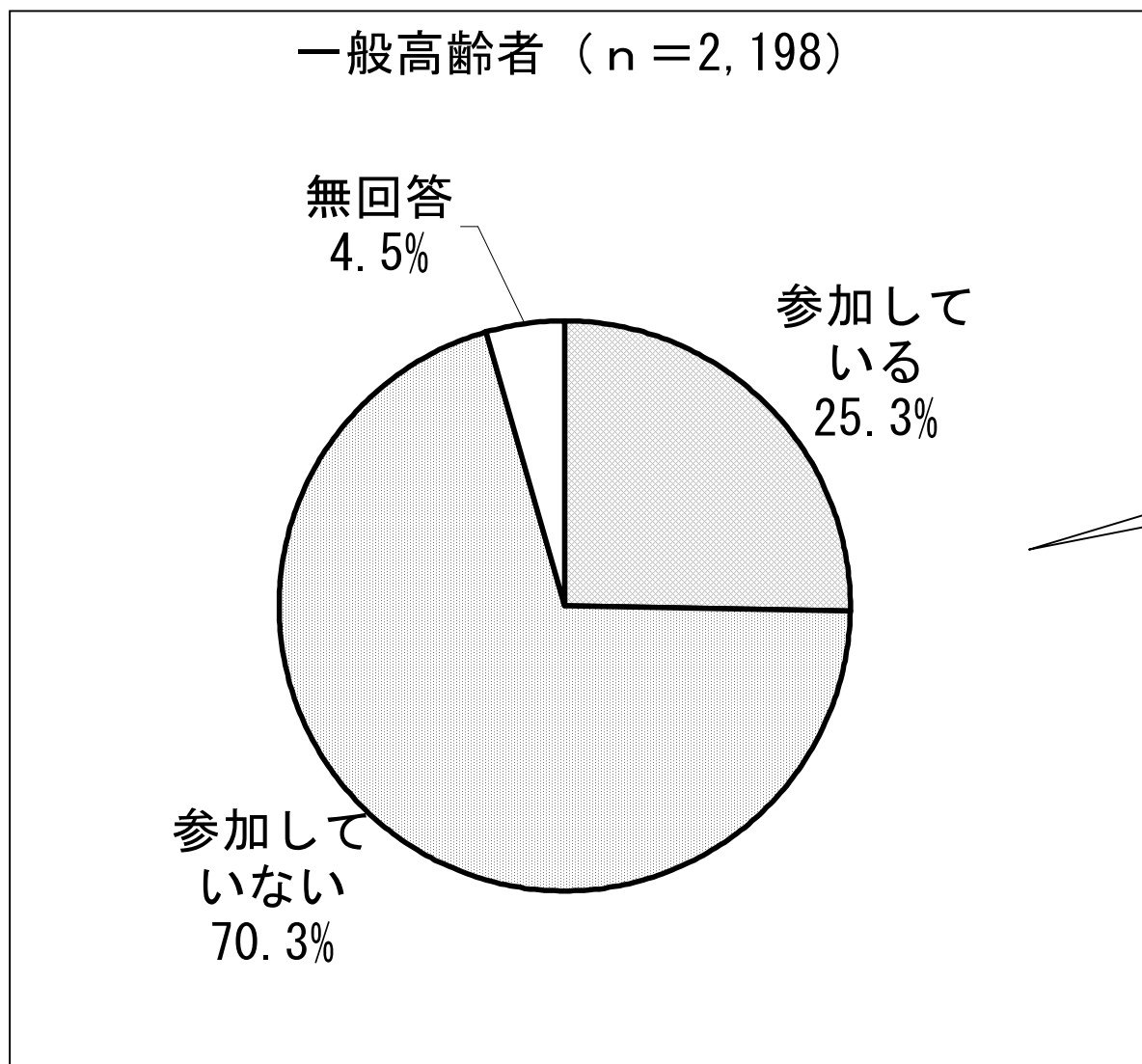


※一般高齢者の老人クラブ活動への参加状況等についての調査結果は、次ページに別記。

(2) 老人クラブ活動への参加状況 (高齢者実態調査 P. 52)

あなたは老人クラブ活動に参加していますか。(○は1つだけ)

[一般高齢者：問12]

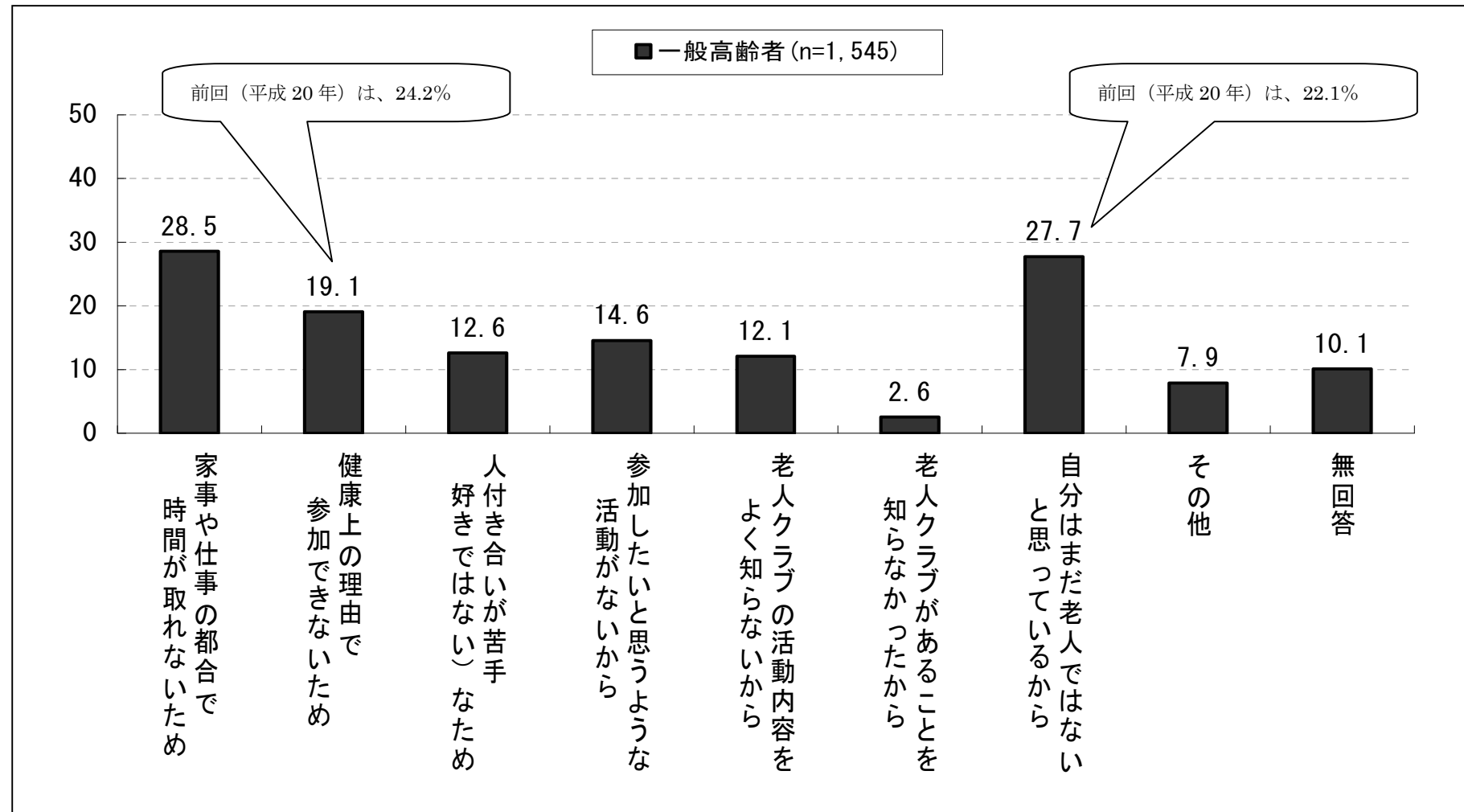


前回 (平成 20 年) は、「参加している」は 27.2%、「参加していない」は 66.4%

(3) 老人クラブ活動に参加していない理由 (高齢者実態調査 P. 54)

理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

[一般高齢者：問12-1]



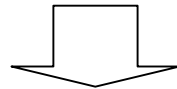
調査結果から見てくる現状と課題（社会参加について）

①社会参加状況

- ・【一般高齢者】の回答者の約6割、【要支援者】の回答者の約4割は、何らかの社会参加活動を行っている。

②老人クラブ活動への参加状況・意向

- ・【一般高齢者】の25.3%が老人クラブに参加しているが前回と比較し、割合は減ってきている。参加しない理由では、「自分はまだ老人ではないと思っているから」が増加し、「健康上の理由で参加できないため」が減っている。



《課題》

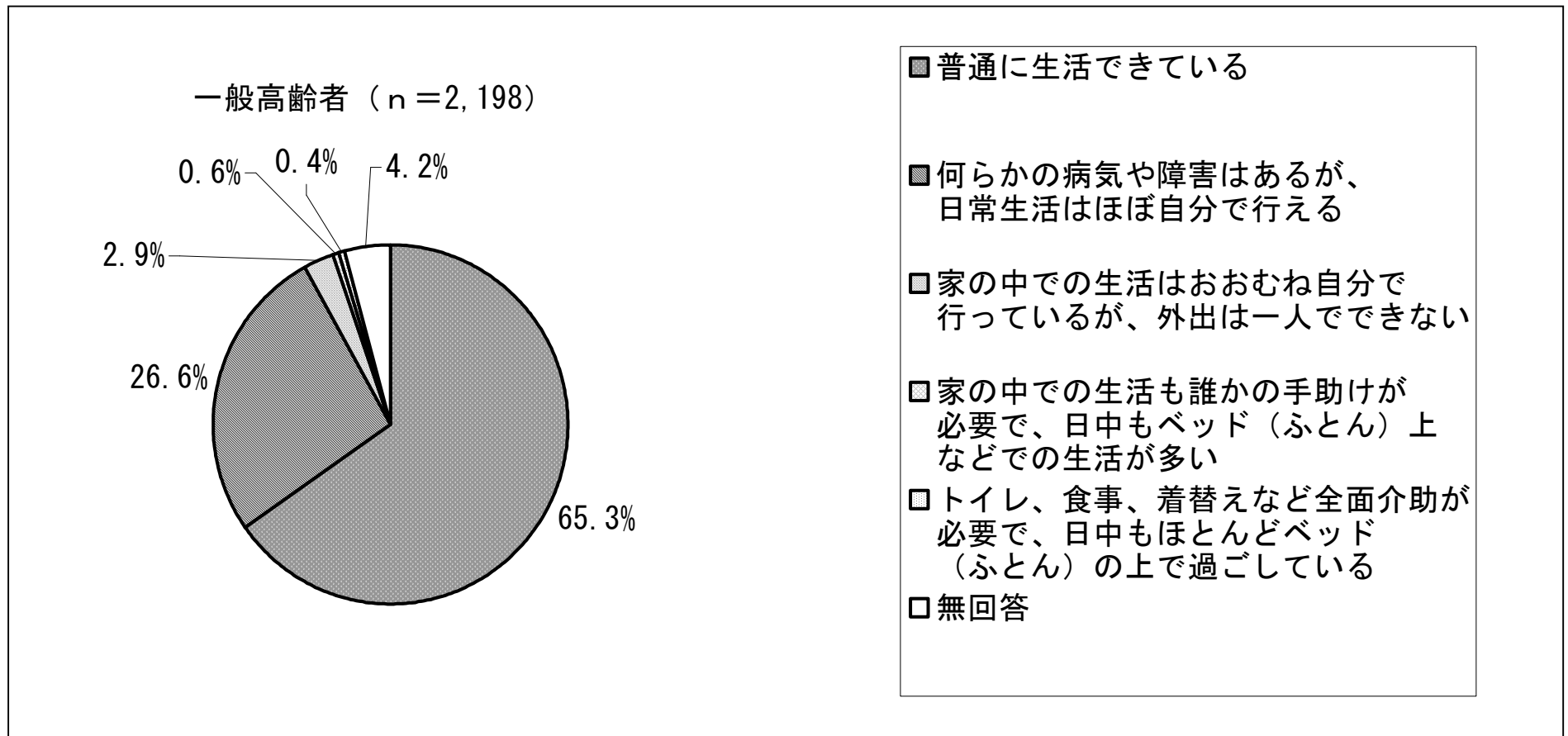
- ◎社会参加活動における高齢者間の連携、及び他世代との連携に結びつく場や機会の提供。
- ◎今後高齢化する団塊の世代を含めた元気な高齢者を、少子高齢社会を支える貴重なマンパワーとする仕組みの構築。
- ◎老人クラブ活動の活性化、体制強化。

4. 健康状態、健康づくり、介護予防について

(1) 身体状況 (高齢者実態調査 P. 58)

あなたの身体状況はいかがですか。(もっとも近いもの1つに○)

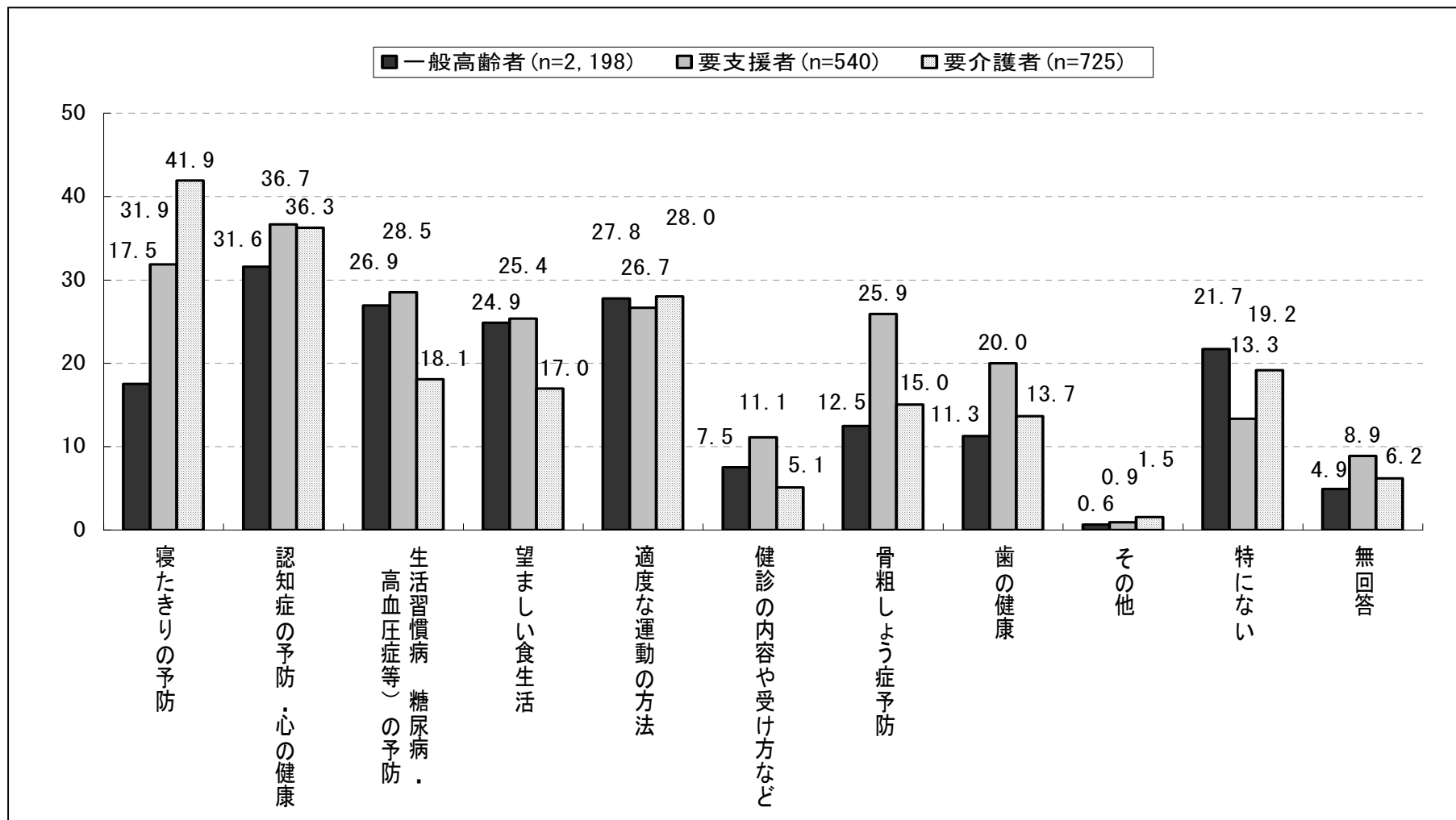
[一般高齢者：問13]



(2) 健康づくりについて (高齢者実態調査 P. 64)

健康づくりのために、どんなことを知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

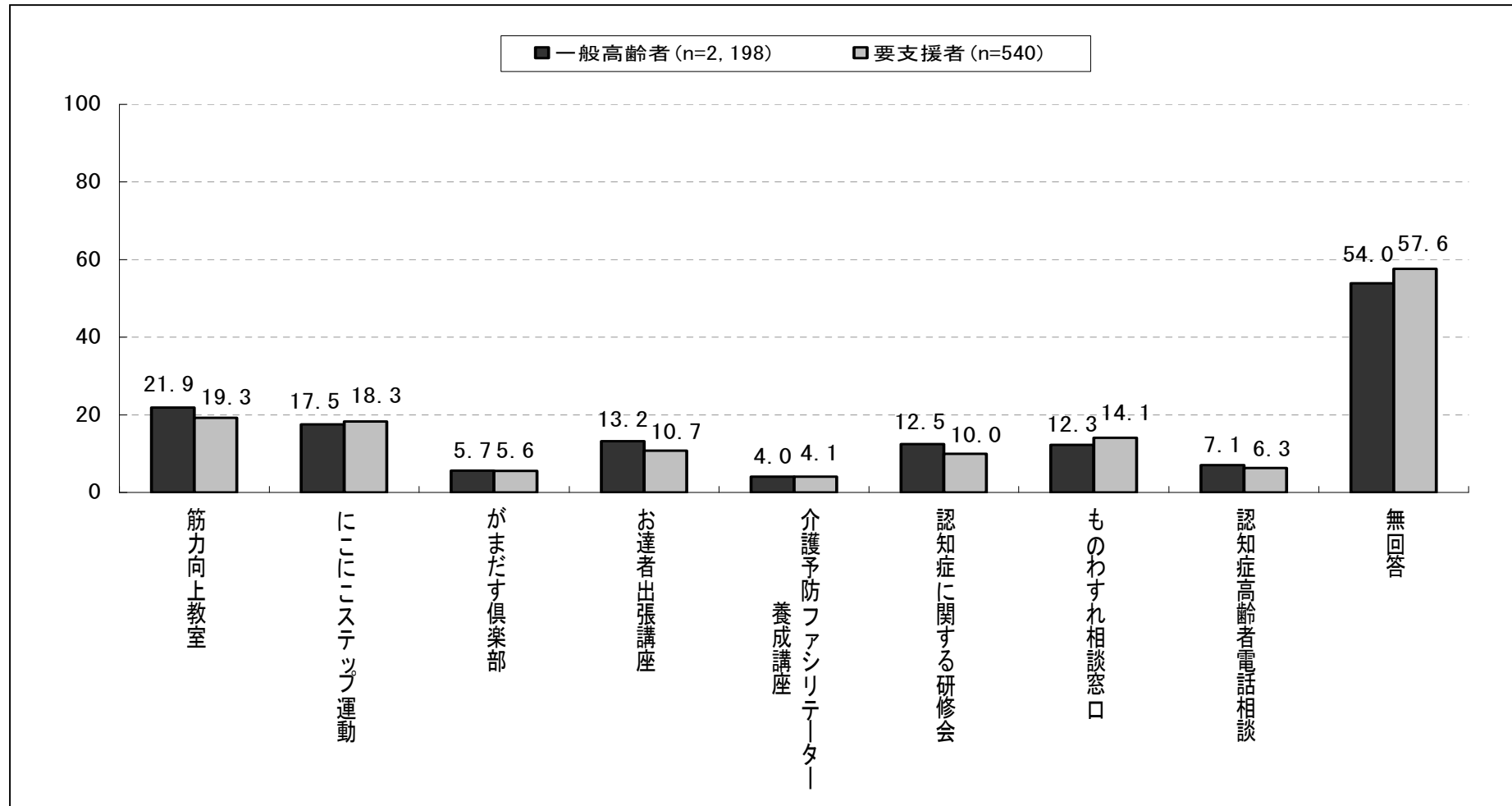
[一般高齢者：問 16、要支援者：問 15、要介護者：問 12]



(3) 介護予防事業の利用意向（高齢者実態調査 P.114）

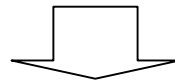
上記の介護予防事業について、今後利用したいもの（既に利用したことがあるが再度利用したいものも含む）に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

〔一般高齢者：問 27、要支援者：問 29〕



調査結果から見えてくる現状と課題（健康状態、健康づくり、介護予防について）

- ①【一般高齢者】の約9割は、ほぼ自立した日常生活を送っている。
- ②健康づくりのために知りたいこと
 - ・【一般高齢者】【要支援者】は「認知症の予防・心の健康」が1位、【要介護者】では「寝たきりの予防」が1位。
- ③介護予防サービスの利用意向
 - ・【一般高齢者】【要支援者】とも「筋力向上教室」が1位、「にこにこステップ運動」が2位。



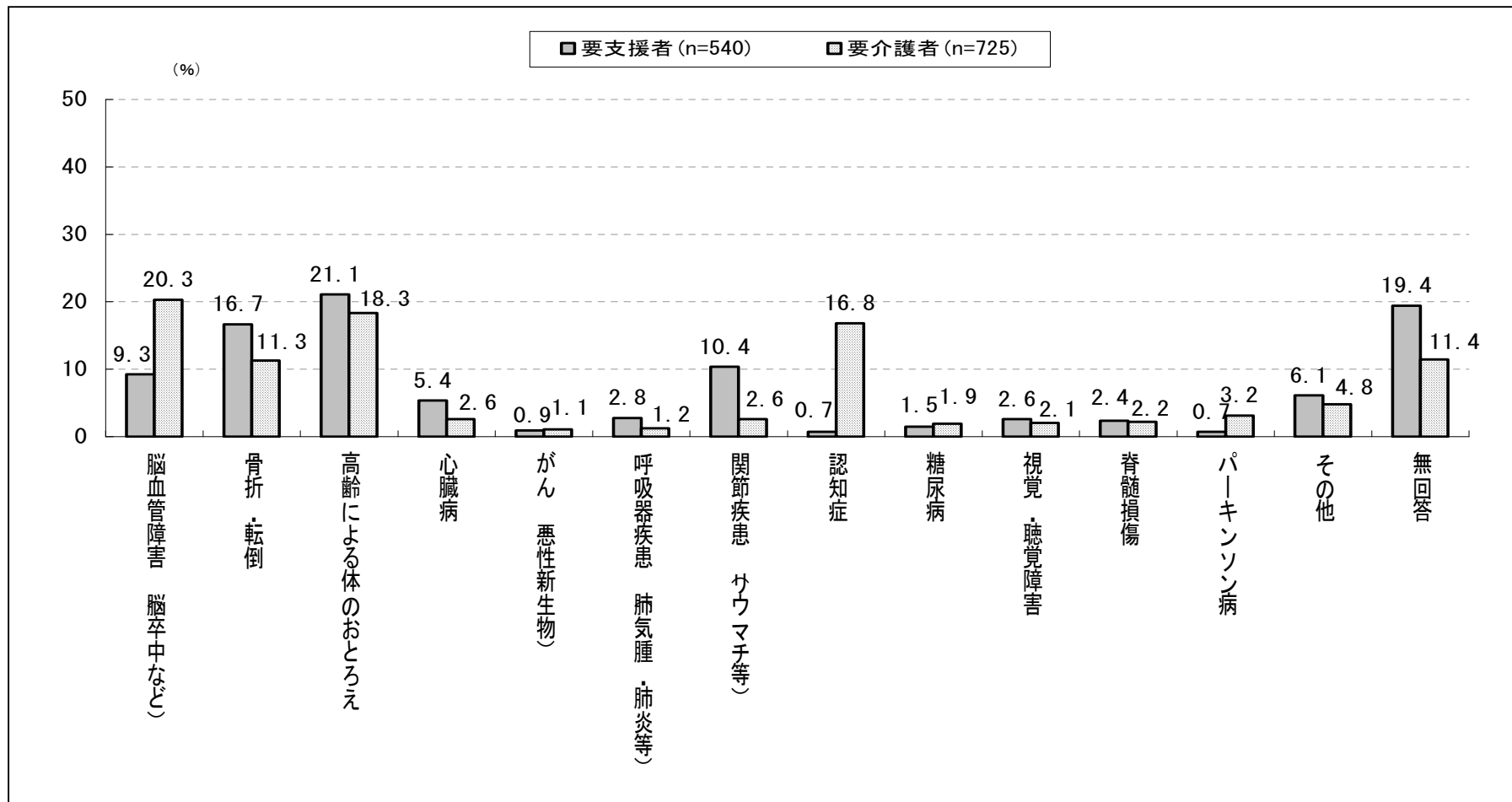
《課題》

- ◎運動や食生活等の生活習慣改善に関する知識の普及・意識啓発・健康診査の受診意識向上等へ向けた保健事業・介護予防事業の充実。
- ◎認知症の原因や特徴、コミュニケーションのとり方など、認知症に関する正しい理解への啓発、認知症予防事業の推進。
- ◎寝たきりの予防のための効果的なメニューを取り入れた、介護予防事業の充実。

5. 要介護の原因等について

(1) 介護が必要になった原因（高齢者実態調査 P. 17）

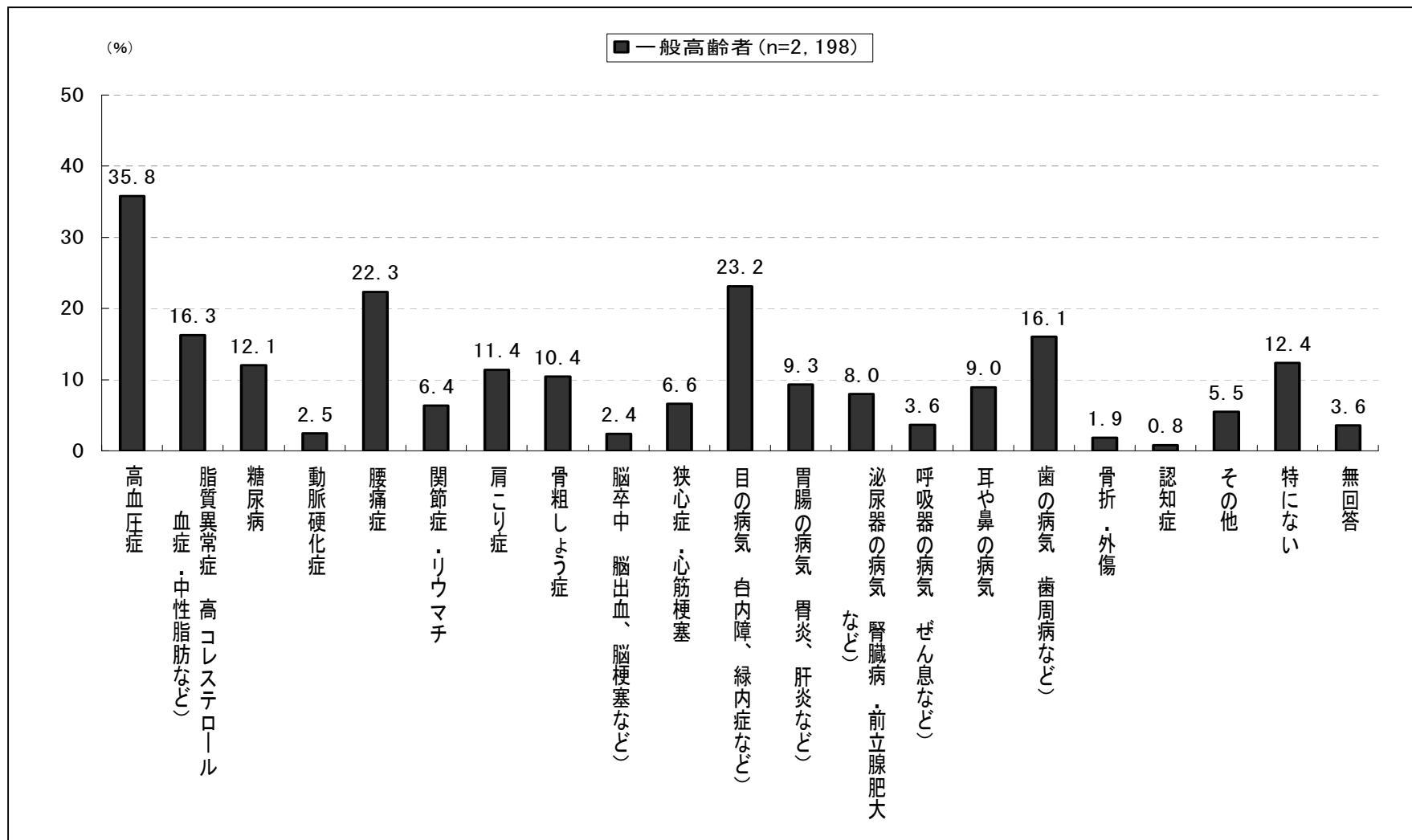
あなたが介護が必要となった主な原因は何ですか。下記より1つだけお選びください。
 (○は1つだけ) [要支援者・要介護者：問7]



(2) 現在かかっている病気（高齢者実態調査 P. 60）

現在、次のような病気などにかかっていますか。（あてはまるものすべてに○）

〔一般高齢者：問 14〕



(3) 現在かかっている病気 (高齢者実態調査 P. 60)

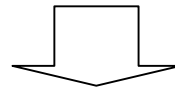
【参考 前回比較】

		調査数	高血圧症	脂質異常症	糖尿病	動脈硬化症	腰痛症	関節症・リウマチ	肩こり症	骨粗しょう症	脳卒中	狭心症・心筋梗塞	目の病気
一般高齢者	今回	2,198	35.8	16.3	12.1	2.5	22.3	6.4	11.4	10.4	2.4	6.6	23.2
	前回	1,122	42.8	19.3	16.4	5.5	31.8	12.5	16.6	11.3	4.2	10.5	28.8

		調査数	胃腸の病気	泌尿器の病気	呼吸器の病気	耳や鼻の病気	歯の病気	骨折・外傷	認知症	その他	特にない	無回答
一般高齢者	今回	2,198	9.3	8.0	3.6	9.0	16.1	1.9	0.8	5.5	12.4	3.6
	前回	1,122	11.7	12.0	7.3	10.6	17.5	2.9	0.7	11.9	1.0	1.0

調査結果から見えてくる現状と課題（要介護の原因等について）

- ①『要介護となった主な原因』への設問において、【要支援者】は「高齢による体の衰え」「骨折・転倒」「関節疾患」「脳血管障害」への回答が多く、【要介護者】は「脳血管障害」「高齢による体の衰え」「認知症」「骨折・転倒」への回答が多くなっている。
- ②一方、『現在かかっている病気』への設問において、【一般高齢者】の35.8%が「高血圧症」、16.3%が「脂質異常症」であり、要介護原因疾病と一定の関連が認められる。また、罹っている疾病の割合が前回と比較すると全体的に低くなっていることがわかる。



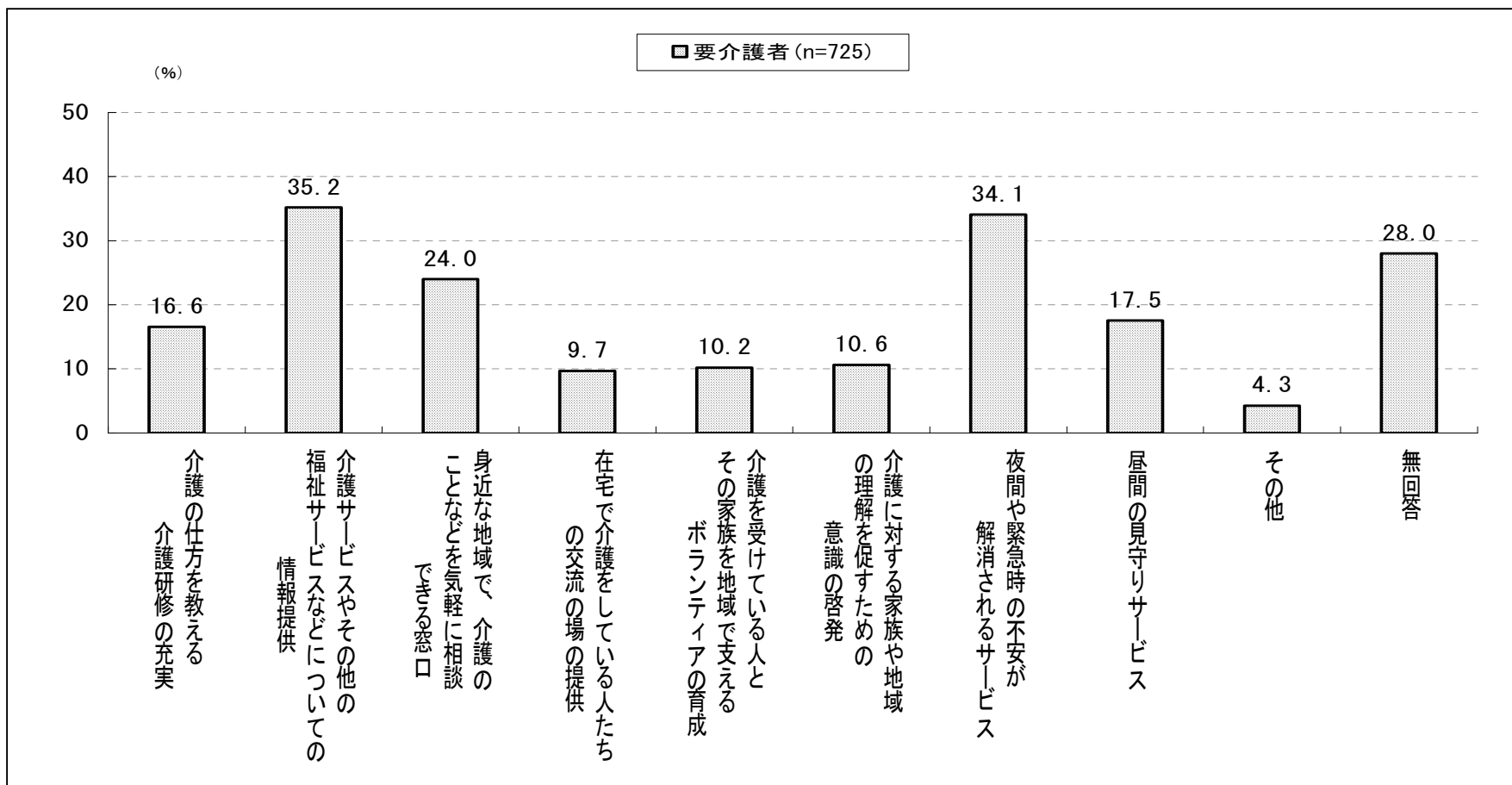
《課題》

- ◎運動や食生活等の生活習慣改善に関する知識の普及・意識啓発・健康診査の受診意識向上等へ向けた保健事業・介護予防事業の充実。
- ◎「現在の高齢者」に限らず、「将来の高齢者」も含めた、ライフステージに応じた健康づくりの推進。

6. 在宅介護について

(1) 在宅介護継続のために必要な支援（介護者への質問）（高齢者実態調査 P.145）

今後も在宅で介護を続けていくには、どのような支援やサービスが必要と思われますか。
（あてはまるものすべてに○）
〔要介護者：問 37〕

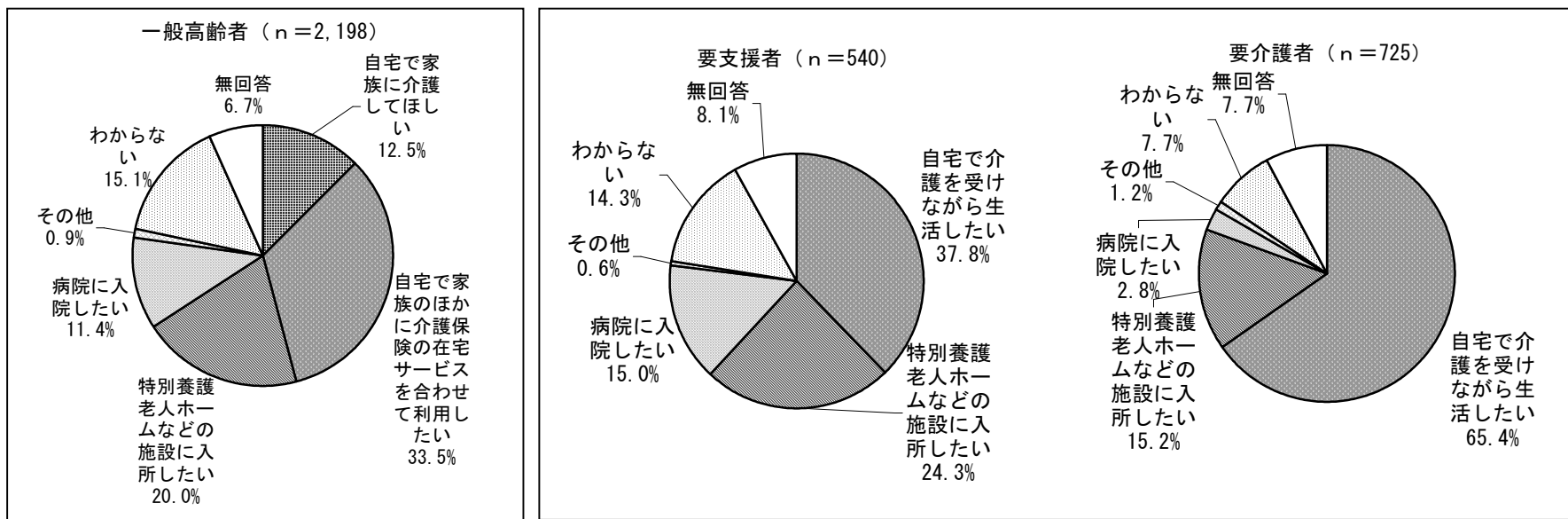


(2) 介護が必要になった場合の介護希望（高齢者実態調査 P. 72、74）

もしあなたが介護が必要になった場合、どのようにしたいですか。（○は1つだけ）
 [一般高齢者：問 19]

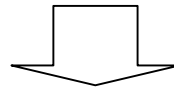
今後、もし今以上に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。

[要支援者：問 18、要介護者：問 13]



調査結果から見てくる現状と課題（在宅介護について）

- ①在宅介護継続のために必要な支援について（介護者へ質問）
 - ・「介護サービスやその他の福祉サービスなどについての情報提供」と「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス」が必要と回答した割合が多い。
- ②介護が必要になった場合、または今以上に介護が必要になった場合の介護希望
 - ・【一般高齢者】【要支援者】【要介護者】とも「自宅で介護を受けながら生活したい」が最も多い。一方で、特別養護老人ホームなどの施設に入所したいと回答した割合も2割前後程度ある。



《課題》

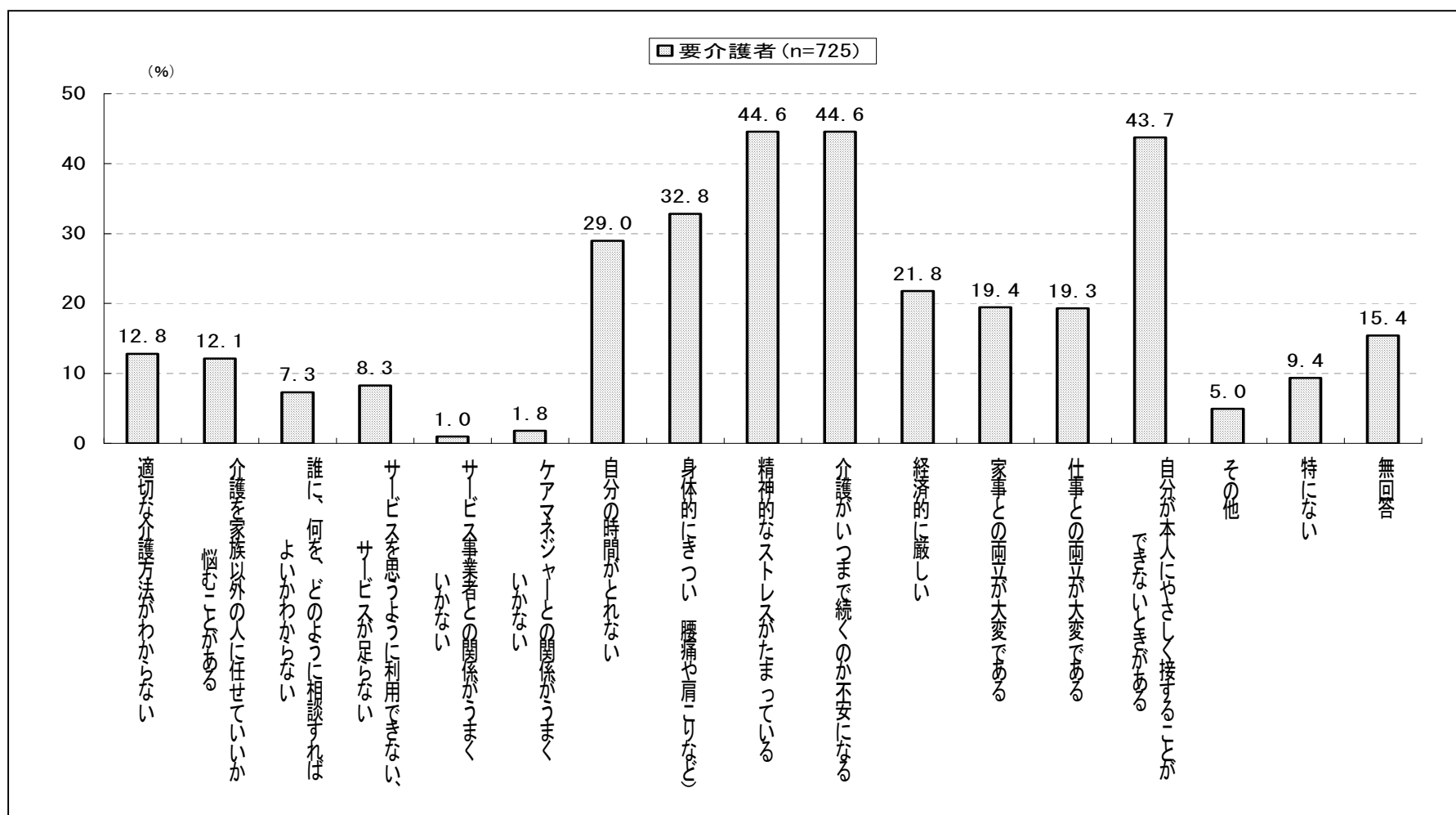
- ◎介護保険サービス、高齢者福祉サービスについての情報提供の充実。
- ◎家族の介護負担軽減のための相談体制の充実や適正な施設サービスの整備。

7. 家族介護者について

(1) 在宅介護の困難点 (介護者へ質問) (高齢者実態調査 P. 142)

在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

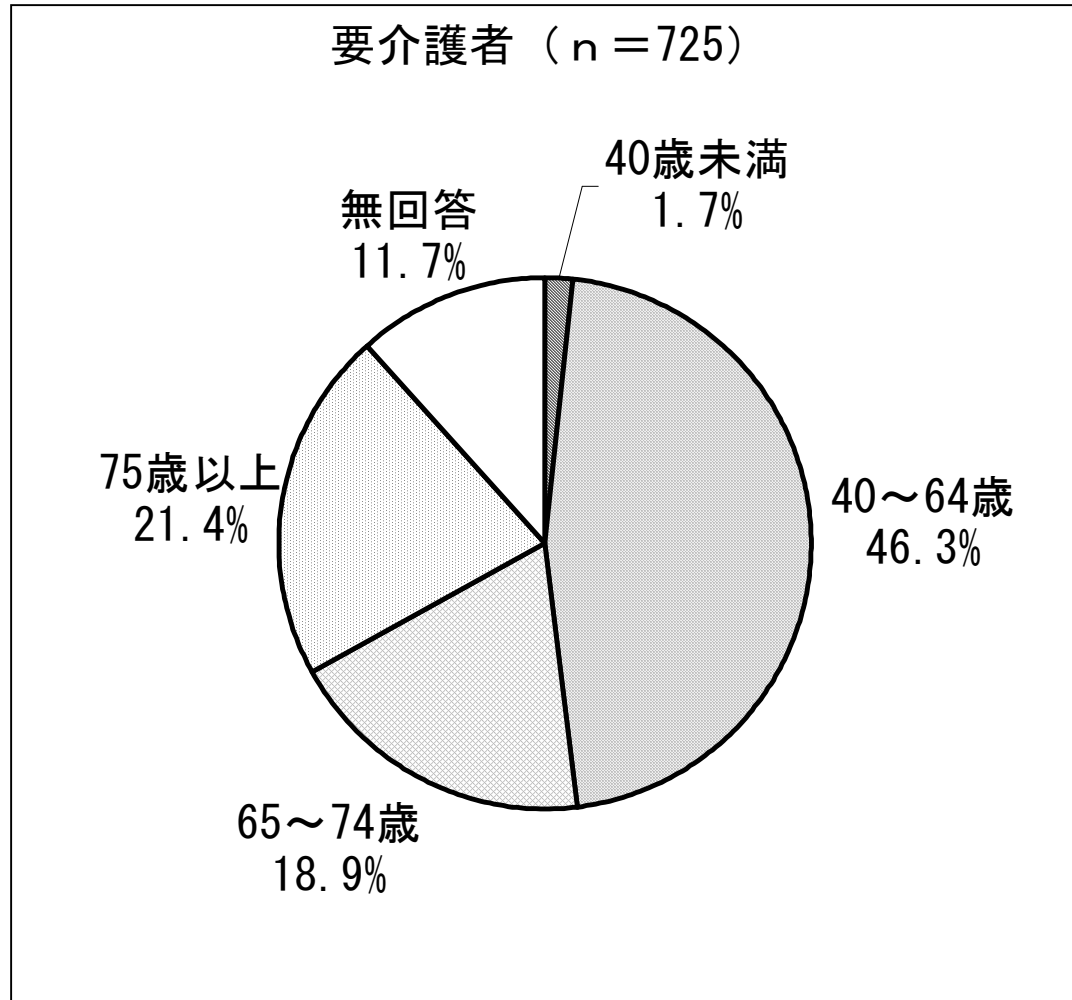
[要介護者：問 36]



(2) 介護者の年齢（高齢者実態調査 P. 139）

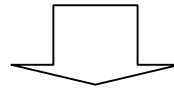
介護をしている方の年齢はおいくつですか。（○は1つだけ）

〔要介護者：問 33〕



調査結果から見えてくる現状と課題（家族介護者について）

- ①『在宅介護の困難点』の設問で、「精神的ストレス」等の精神的な負担への回答が、身体的問題、経済的問題、介護方法等の問題を大きく上回っている。
- ②【家族介護者】の約40%が高齢者である。



《課題》

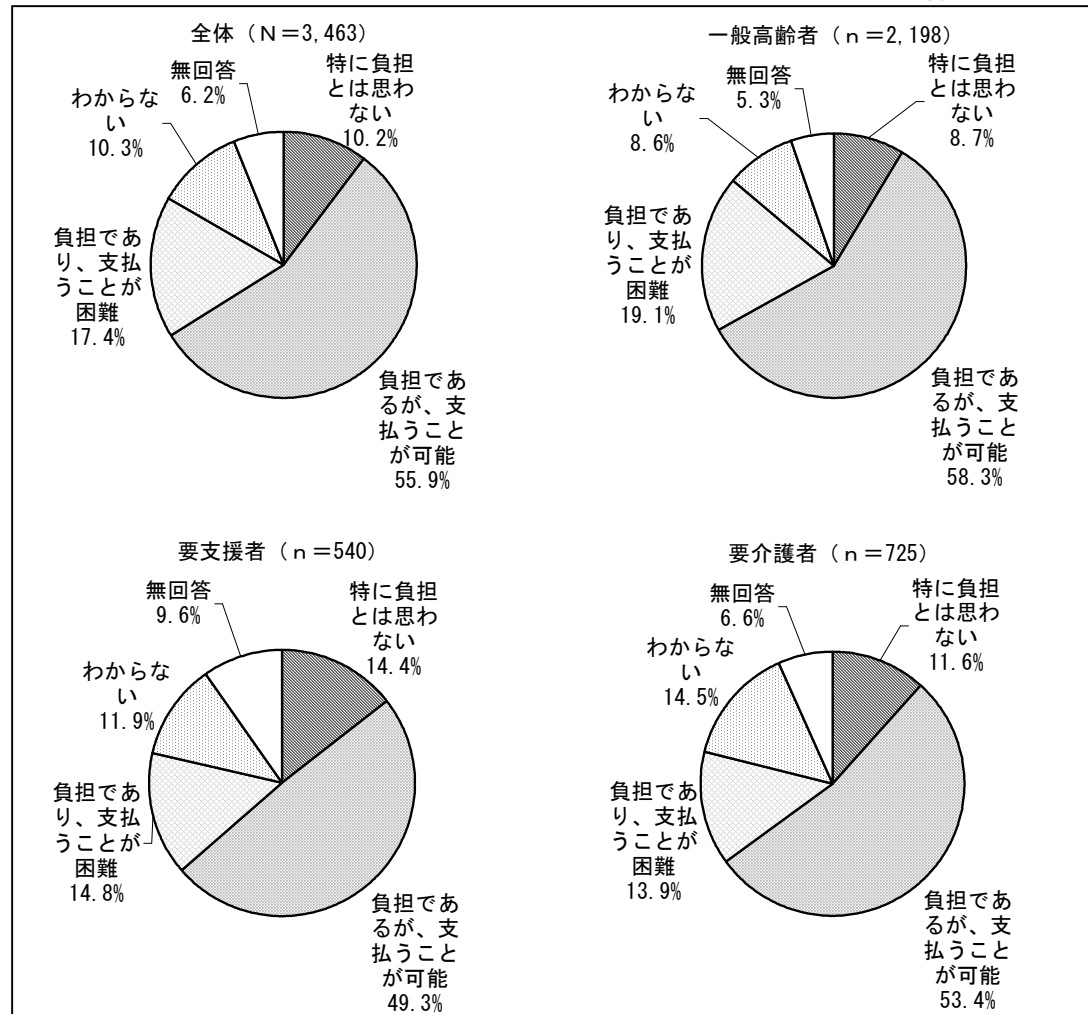
- ◎地域包括支援センターを中心とした、家族介護者の相談機会・窓口整備等、支援体制の強化。
- ◎介護保険サービス、高齢者福祉サービスについての情報提供の充実。
- ◎一般的に負担が大きいといわれる認知症高齢者の家族介護者や高齢化してきている家族介護者の負担軽減。

8. 介護保険サービスと保険料について

(1) 介護保険料の負担感（高齢者実態調査 P. 94）

現在支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

〔一般高齢者・要支援者：問 22、要介護者：問 18〕

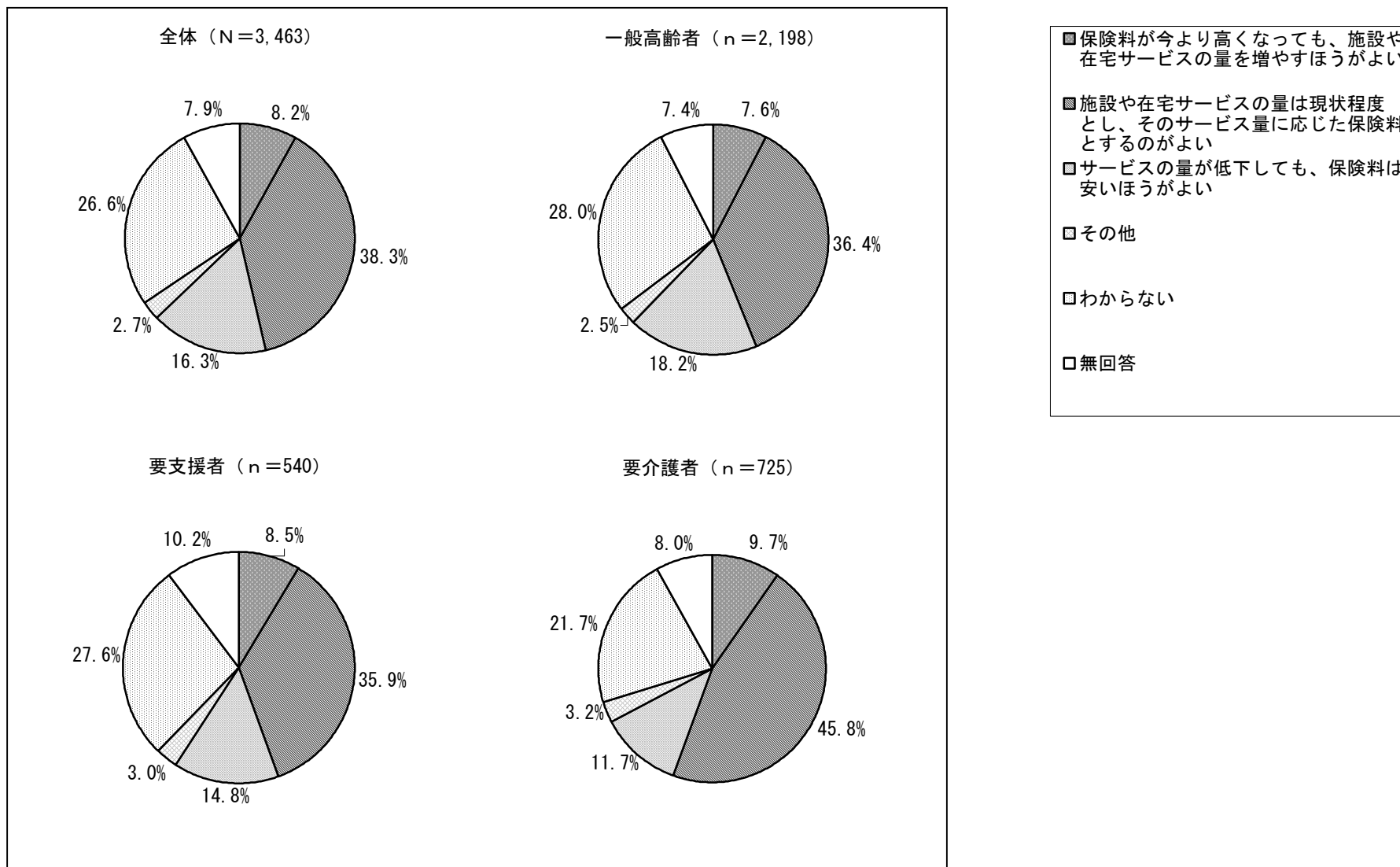


(2) 介護サービスと料金との関係 (高齢者実態調査 P. 98)

介護保険のサービスと保険料の関係について、お考えに最も近いものは次のうちどれですか。

(○は1つだけ)

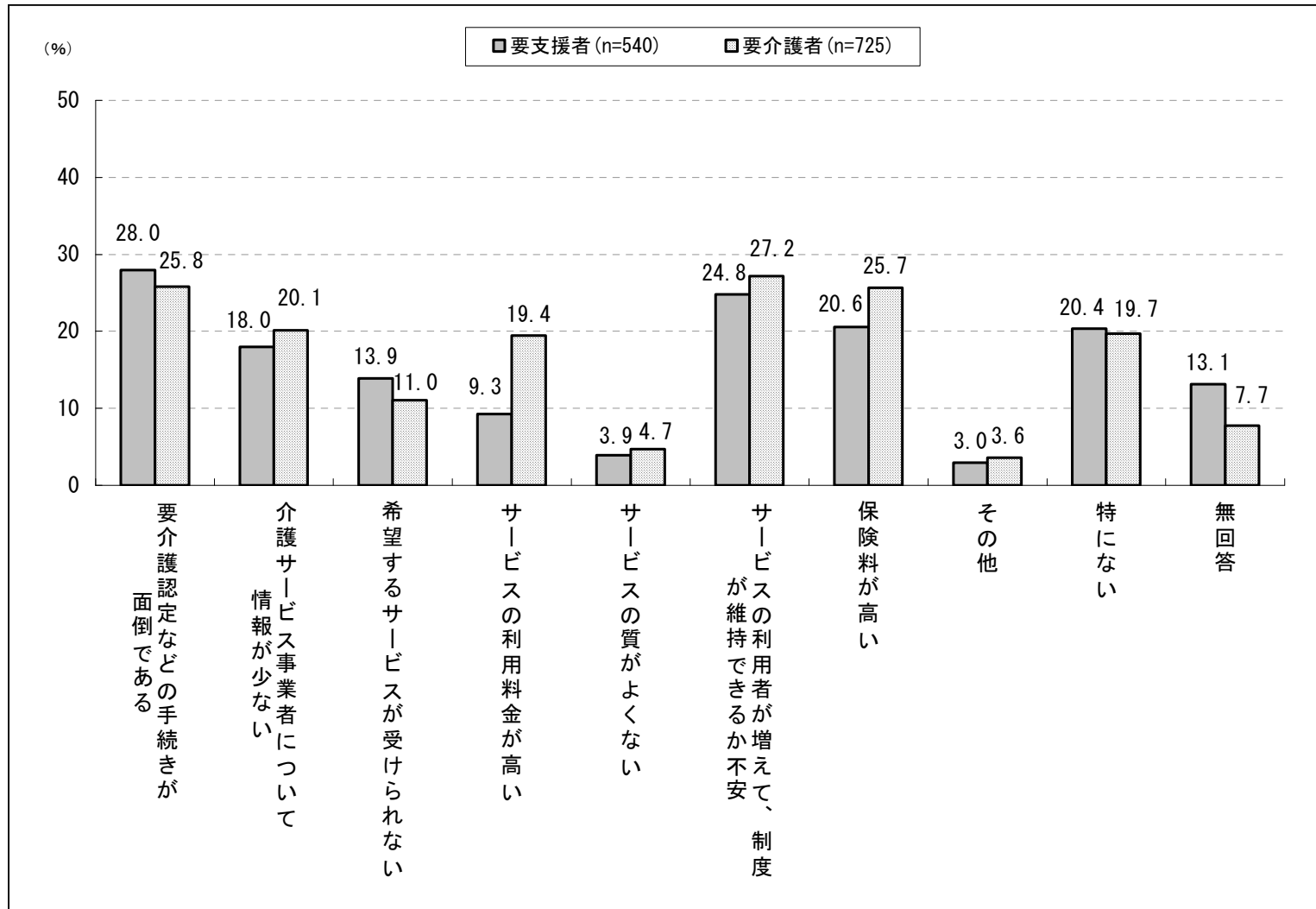
[一般高齢者・要支援者：問 23、要介護者：問 19]



(3) 介護保険制度に対する不満（高齢者実態調査 P. 105）

介護保険制度で不満に思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

〔要支援者：問 25、要介護者：問 21〕



調査結果から見てくる現状と課題（介護保険サービスと保険料について）

①介護保険料の負担感

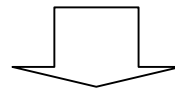
- ・【一般高齢者】【要支援者】【要介護者】ともに「負担であるが支払うことが可能」が最も割合が高い。

②介護サービスと料金の関係

- ・【一般高齢者】【要支援者】【要介護者】ともに「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、そのサービス料に応じた保険料とするのがよい」への回答の割合が最も高い。

③介護保険制度に対する不満

- ・【要支援者】【要介護者】ともに「要介護認定などの手続きが面倒である」「サービスの利用者が増えて、制度が維持できるか不安」「保険料が高い」と回答した割合が高い。



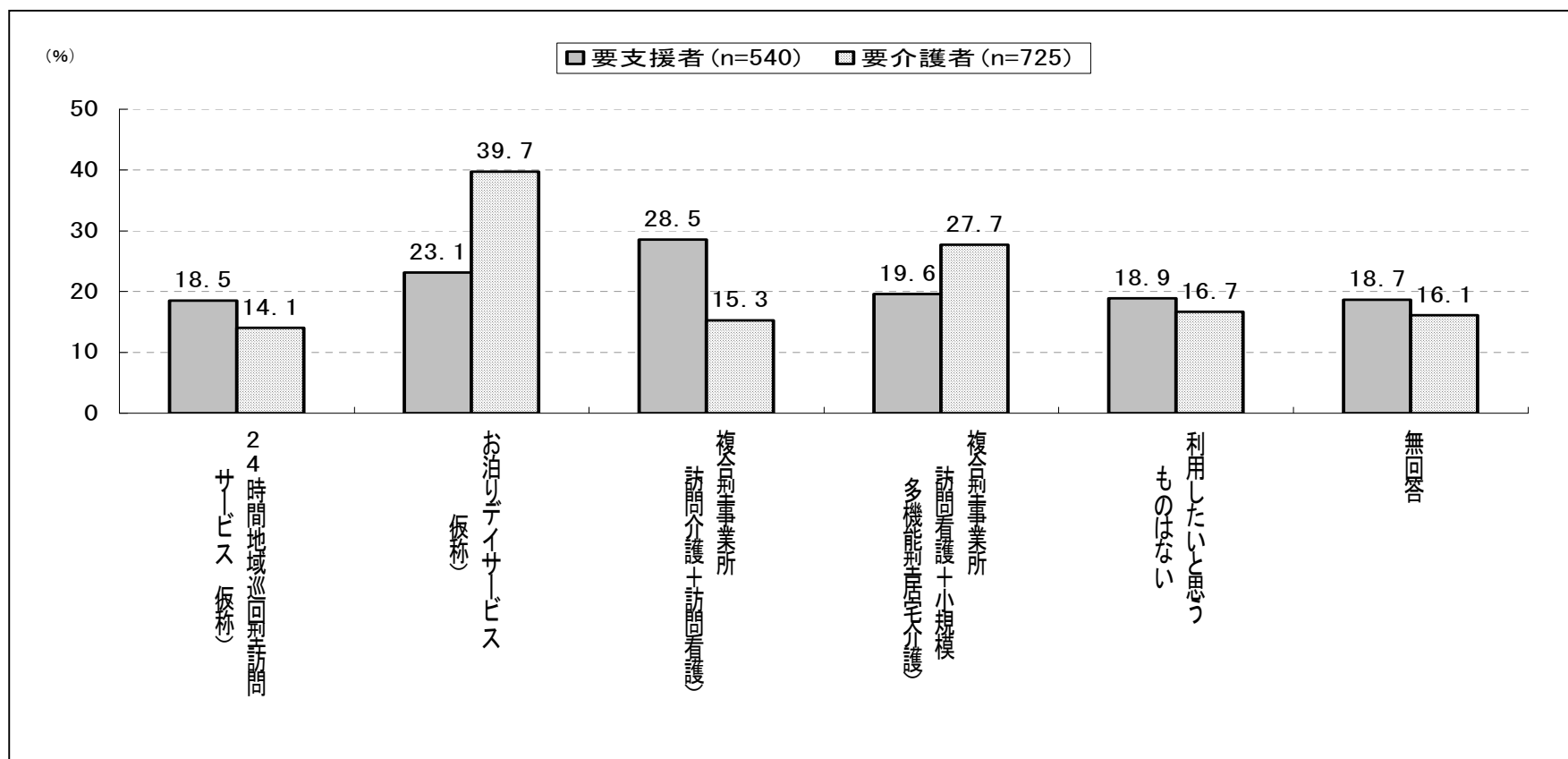
《課題》

- ◎給付データの詳細な分析による、適切なサービス供給見込み量の推計。
- ◎より多くの市民の理解を得るための、収入に応じた適正な保険料段階の設定。
- ◎保険料負担における低所得者への配慮。
- ◎介護保険制度のPR強化。

9. 新たな介護サービスのニーズについて

(1) 介護保険サービスの利用意向（高齢者実態調査 P. 87）

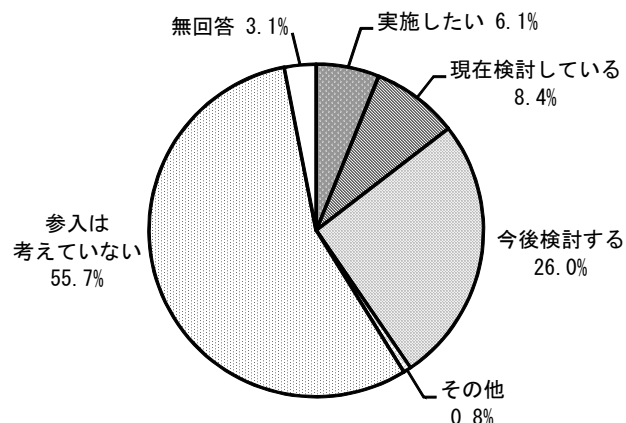
今後、次のような新しいサービスが考えられています。利用したいと思うものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）〔要支援者：問 19、要介護者：問 15〕



※「お泊りデイサービス」については、成立した改正介護保険法では創設が見送られています。

(2) 24時間地域巡回型訪問サービス（仮称）への参入について（事業所調査 P.164）

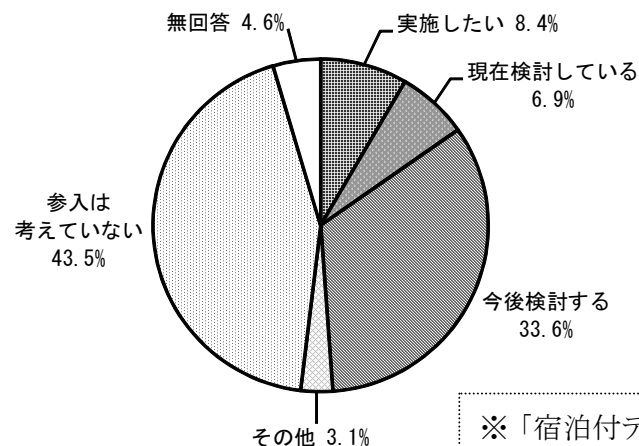
問2 久留米市内での24時間地域巡回型訪問サービス（仮称）への参入について、現時点でのお考えを選択してください。（○は1つだけ）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 実施したい	8	6.1
2. 現在検討している	11	8.4
3. 今後検討する	34	26.0
4. その他	1	0.8
5. 参加は考えていない	73	55.7
無回答	4	3.1
回答数	131	100.0

(3) 宿泊付デイサービス（仮称）への参入について（事業所調査 P.167）

問3 宿泊付デイサービス（仮称）への参入について、現時点でのお考えを選択してください。（○は1つだけ）

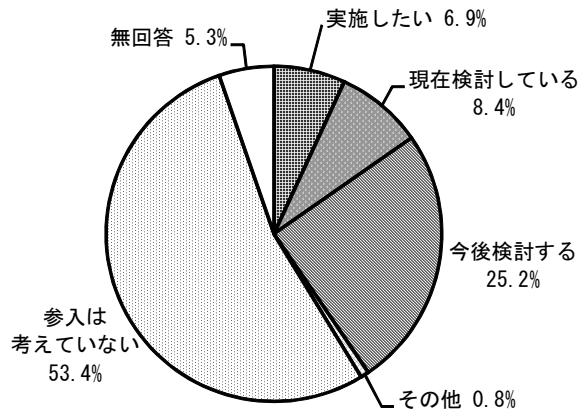


	実数 (件)	構成比 (%)
1. 実施したい	11	8.4
2. 現在検討している	9	6.9
3. 今後検討する	44	33.6
4. その他	4	3.1
5. 参加は考えていない	57	43.5
無回答	6	4.6
回答数	131	100.0

※「宿泊付デイサービス」については、成立した改正介護保険法では創設が見送られています。

(4) 複合事業所（訪問介護＋訪問看護）の実施について（事業所調査 P. 170）

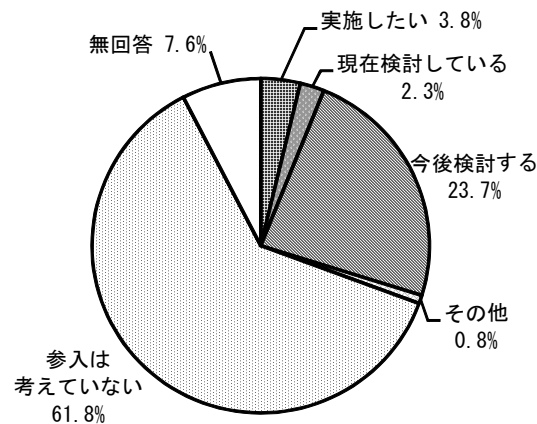
問4 複合事業所（訪問介護＋訪問看護）の実施について、現時点でのお考えを選択してください。（○は1つだけ）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 実施したい	9	6.9
2. 現在検討している	11	8.4
3. 今後検討する	33	25.2
4. その他	1	0.8
5. 参加は考えていない	70	53.4
無回答	7	5.3
回答数	131	100.0

(5) 複合事業所（訪問看護＋小規模多機能型居宅介護）の実施について（事業所調査 P. 173）

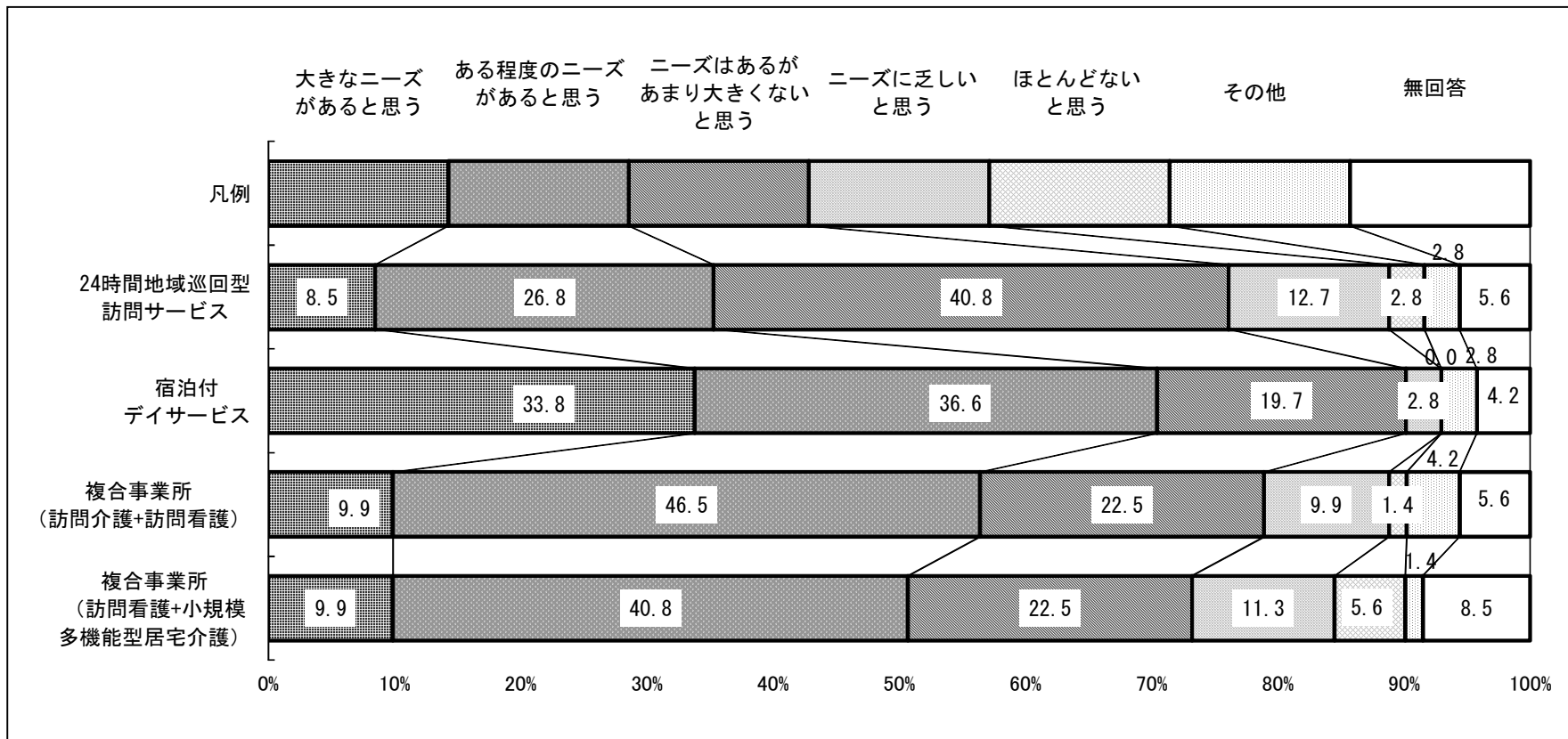
問5 複合事業所（訪問看護＋小規模多機能型居宅介護）の実施について、現時点でのお考えを選択してください。（○は1つだけ）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 実施したい	5	3.8
2. 現在検討している	3	2.3
3. 今後検討する	31	23.7
4. その他	1	0.8
5. 参加は考えていない	81	61.8
無回答	10	7.6
回答数	131	100.0

(6) 現在、次のような新しい介護サービスが検討されています。(事業所調査 P. 156)

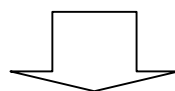
各サービスへのニーズ（需要）についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)
(居宅介護事業所に質問)



※「宿泊付デイサービス」については、成立した改正介護保険法では創設が見送られています。

調査結果から見えてくる現状と課題（介護サービスのニーズについて）

- ①介護保険サービスの利用意向（要介護・要支援認定者に質問）
 - ・【要支援者】【要介護者】ともに「24 時間地域巡回型サービス」に比べ、「複合型事業所」の利用意向割合が多い。
- ②新サービスへの参入意向（介護事業所を設置している法人に質問）
 - ・新サービスの介護報酬や人員・設備基準等が不透明な中での調査結果であるため、「今後検討する」の割合が2割～3割を占めている。
- ③新サービスへのニーズについて（居宅介護支援事業所に質問）
 - ・「24 時間地域巡回型サービス」について 35.3%、「複合型事業所」については 50%以上が「大きなニーズがあると思う」「ある程度のニーズがあると思う」と回答している。



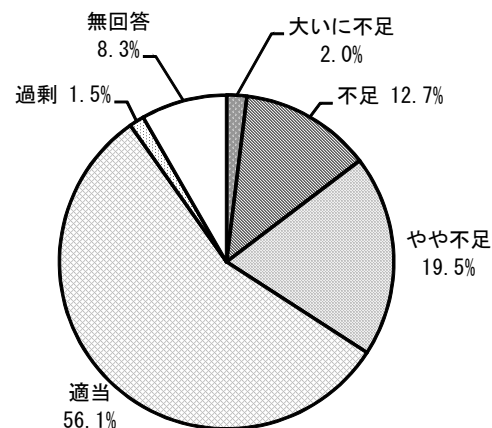
《課題》

- ◎新サービスは、「単身・重度の要介護者」であっても、在宅を中心とする住み慣れた地域で、尊厳と個別性が尊重された生活を継続することができるような社会環境の整備を目標としたサービスであるが、サービスの種類によっては現在のところ需要がそれほど無いように見えるものがある。
- ◎新サービスについて、この先介護報酬や人員・設備基準等の内容が国から示されて行く中での参入意向を再把握しながら、給付見込みへ反映。

10. 介護従事者の安定確保について

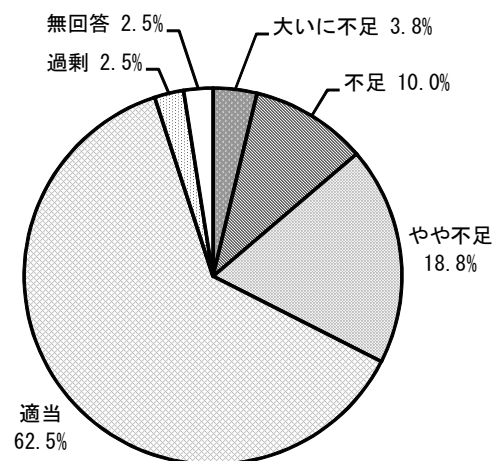
(1) 事業所全体での従業者の過不足状況（在宅系サービス）（事業所調査 P. 13）

問5 貴事業所全体での従業者の過不足の状況はどうか。（○は1つだけ）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 大いに不足	4	2.0
2. 不足	26	12.7
3. やや不足	40	19.5
4. 適当	115	56.1
5. 過剰	3	1.5
無回答	17	8.3
回答数	205	100.0

(2) 事業所全体での従業者の過不足状況（施設系サービス）（事業所調査 P. 79）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 大いに不足	3	3.8
2. 不足	8	10.0
3. やや不足	15	18.8
4. 適当	50	62.5
5. 過剰	2	2.5
無回答	2	2.5
回答数	80	100.0

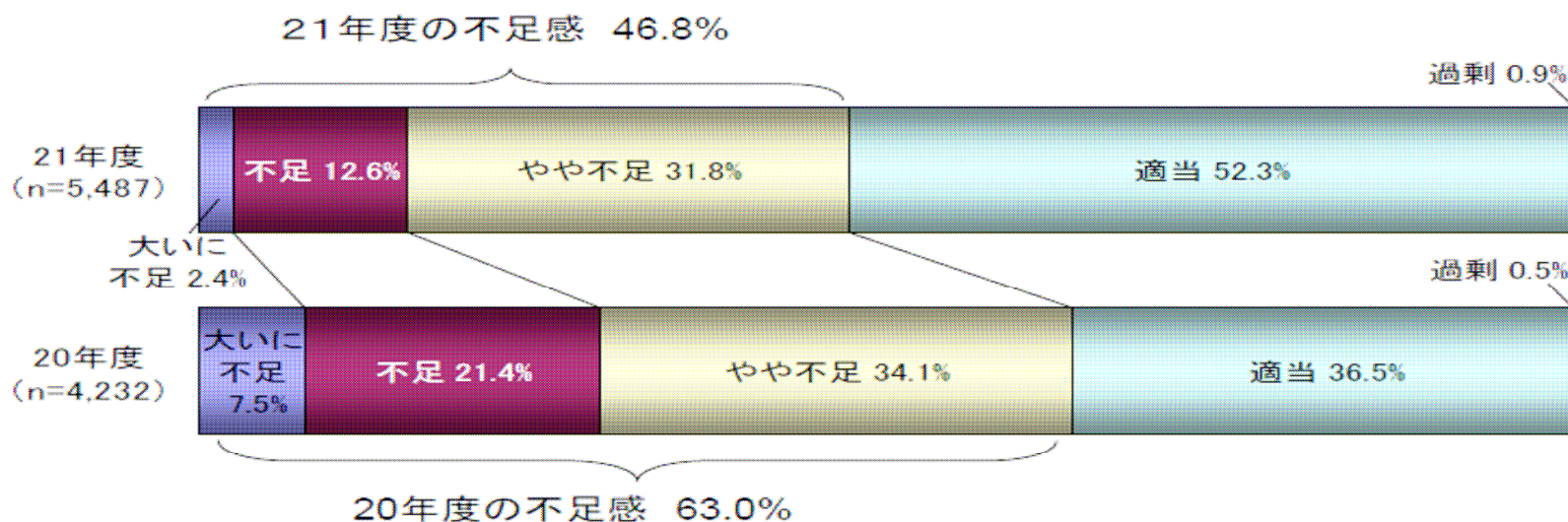
『参考』 — 平成21年度 介護労働実態調査結果について —

(事業所における介護労働実態調査及び介護労働者の就業実態と就業意識調査)

(財) 介護労働安定センター調査

4 従業員の過不足状況

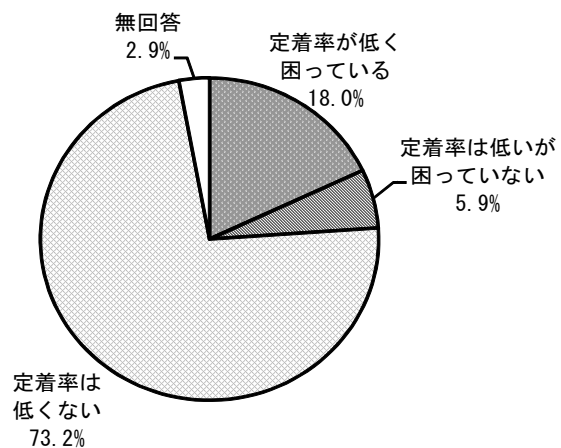
前年に比較して不足感は16.2ポイント減少



調査対象	16,860 事業所(有効回答数 7,515 事業所回答率 44.6%)
調査期日	平成 21 年 10 月 1 日現在
調査実施期間	平成 21 年 11 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日

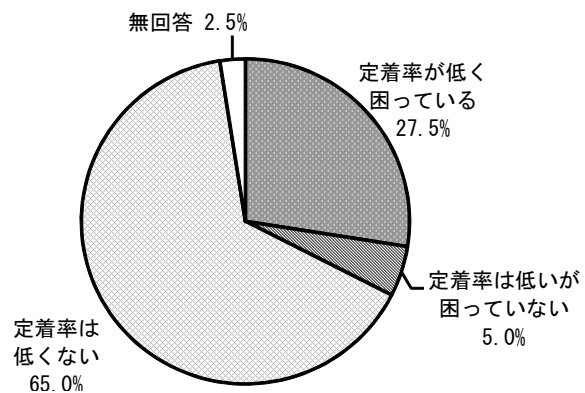
(3) 従業員の定着状況（在宅系サービス）（事業所調査 P. 14）

問6 貴事業所の従業員の定着状況についてどのように考えますか。（○は1つだけ）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 定着率が低く困っている	37	18.0
2. 定着率は低いけど困っていない	12	5.9
3. 定着率は低くない	150	73.2
無回答	6	2.9
回答数	205	100.0

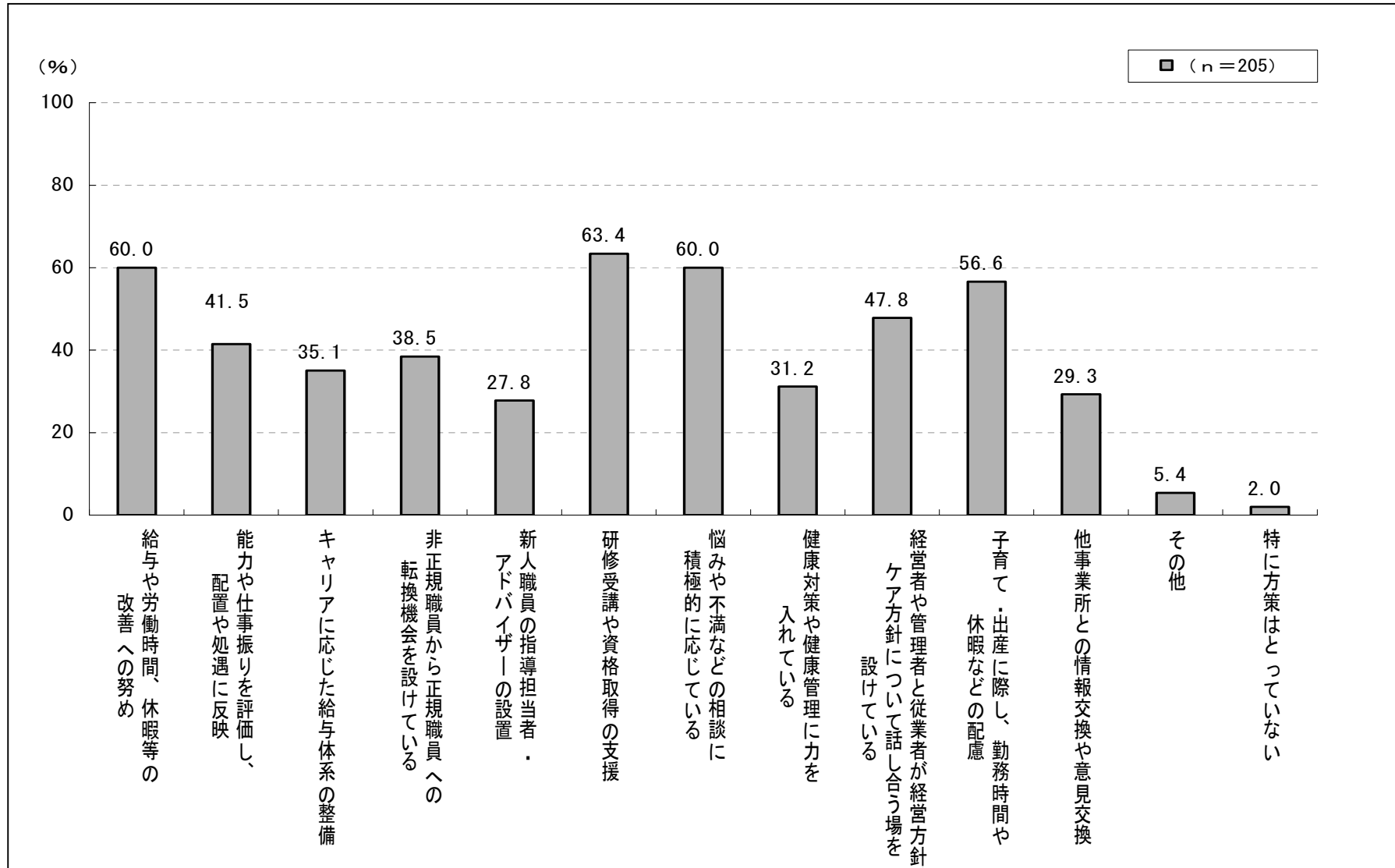
(4) 従業員の定着状況（施設系サービス）（事業所調査 P. 80）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 定着率が低く困っている	22	27.5
2. 定着率は低いけど困っていない	4	5.0
3. 定着率は低くない	52	65.0
無回答	2	2.5
回答数	80	100.0

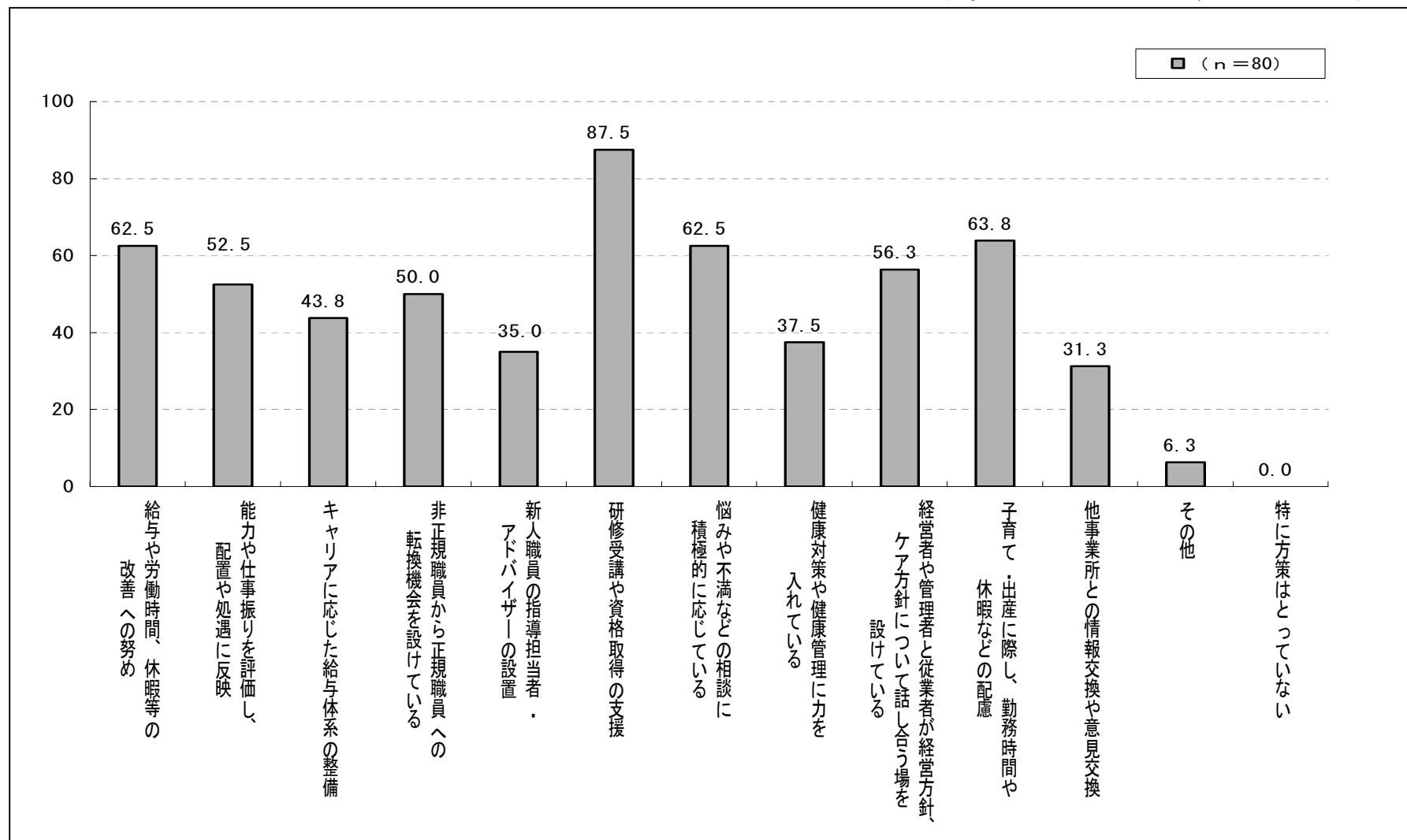
(5) 早期離職防止や定着促進のための方策（在宅系サービス）（事業所調査 P. 15）

問7 従業員の早期離職防止や定着促進のために、どのような方策をとっていますか。
 （あてはまるものすべてに○）



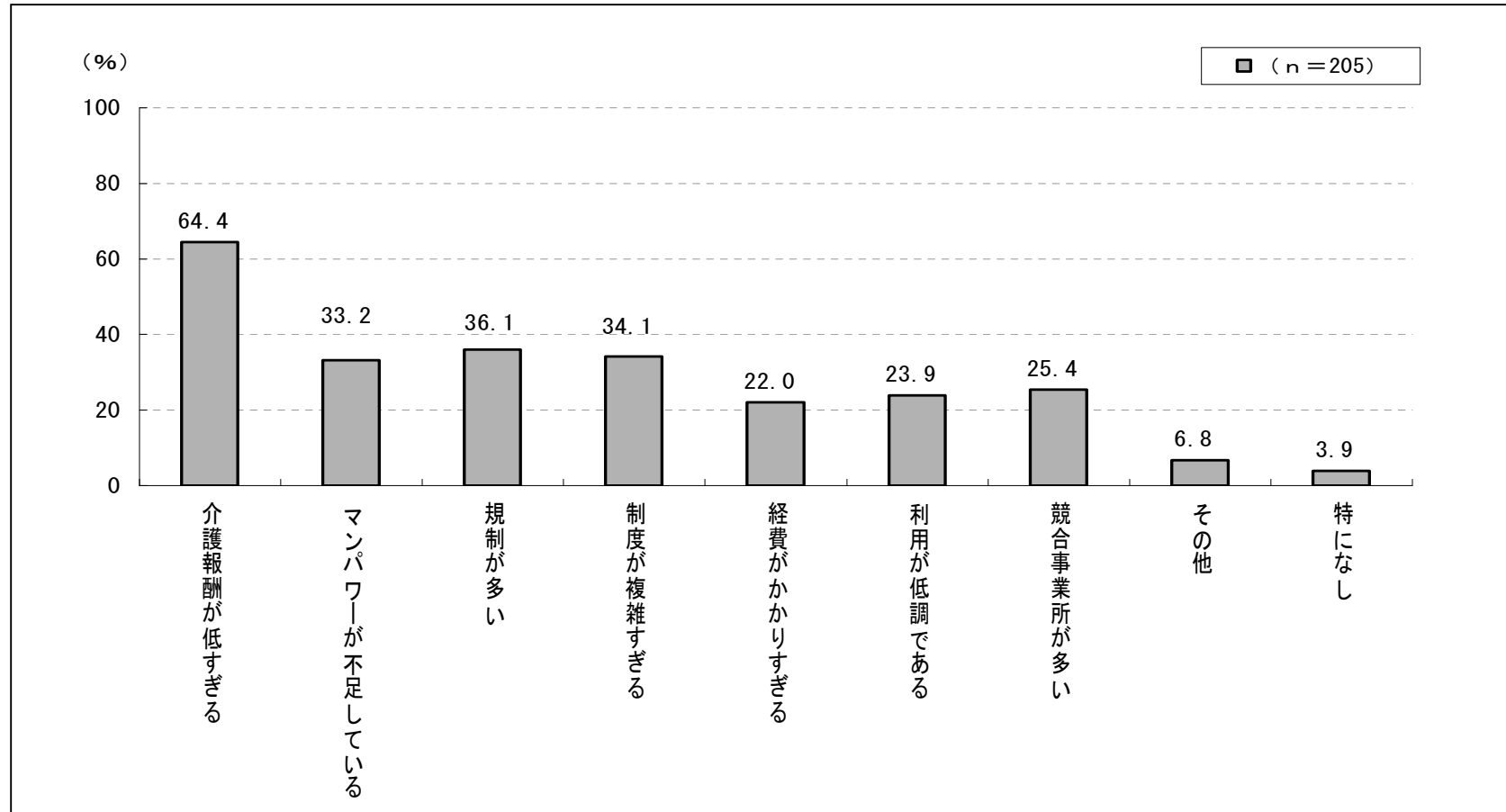
(6) 早期離職防止や定着促進のための方策（施設系サービス）（事業所調査 P. 81）

問7 従業員の早期離職防止や定着促進のために、どのような方策をとっていますか。
（あてはまるものすべてに○）



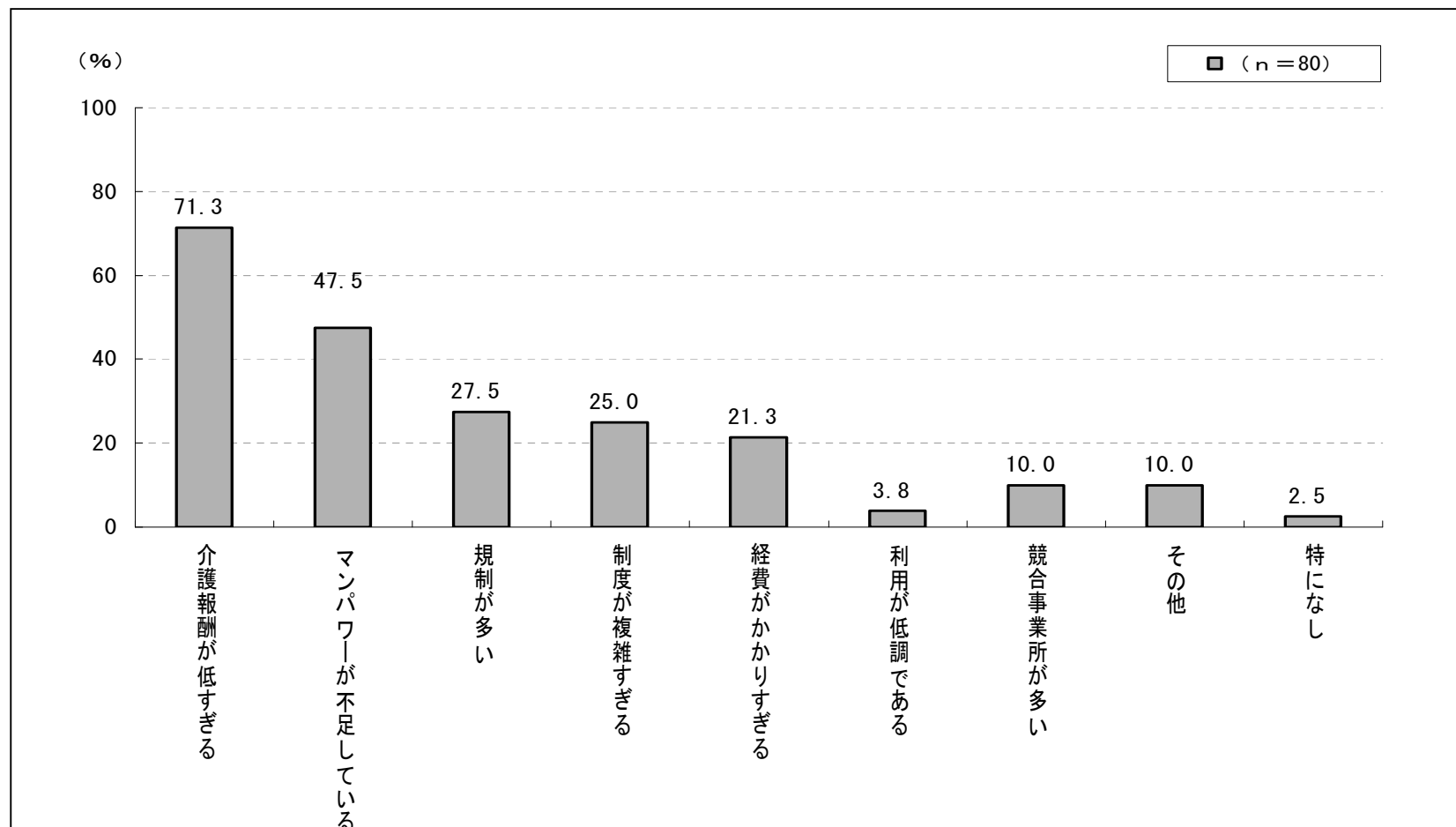
(7) 事業所運営上の課題（在宅系サービス）（事業所調査 P. 62）

問 22 事業所運営上の課題はなんですか。（あてはまるものすべてに○）



(8) 事業所運営上の課題（施設系サービス）（事業所調査 P. 131）

問 24 事業所運営上の課題はなんですか。（あてはまるものすべてに○）



調査結果から見てくる現状と課題（介護従事者の安定確保について）

①従業者の過不足状況について

・従業者の過不足状況について「大いに不足」「不足」「やや不足」と回答した事業所が、在宅系サービス 34.2%、施設系サービス 32.6%となっている。

②従業者の定着状況について

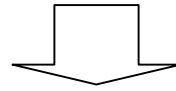
・【在宅系サービス事業所】においては、「定着率が低く困っている」が2割弱、【施設系サービス事業所】においては、3割弱と回答している。

③早期離職防止や定着促進のための方策について

・【在宅系、施設系サービス事業所】ともに「研修受講や資格取得の支援」「給与や労働時間、休暇等の改善への努め」「悩みや不満などの相談に積極的に応じる」等の割合が高くなっている。

④事業所運営上の課題

・【在宅系サービス事業所】においては、「介護報酬が低すぎる」と回答した割合が 64.4%と高く、以下「規制が多い」「制度が複雑すぎる」「マンパワーが不足している」が多くなっている。また、【施設系サービス事業所】においては、「介護報酬が低すぎる」と回答した割合が 71.3%と高く、以下「マンパワーが不足している」が多くなっている。



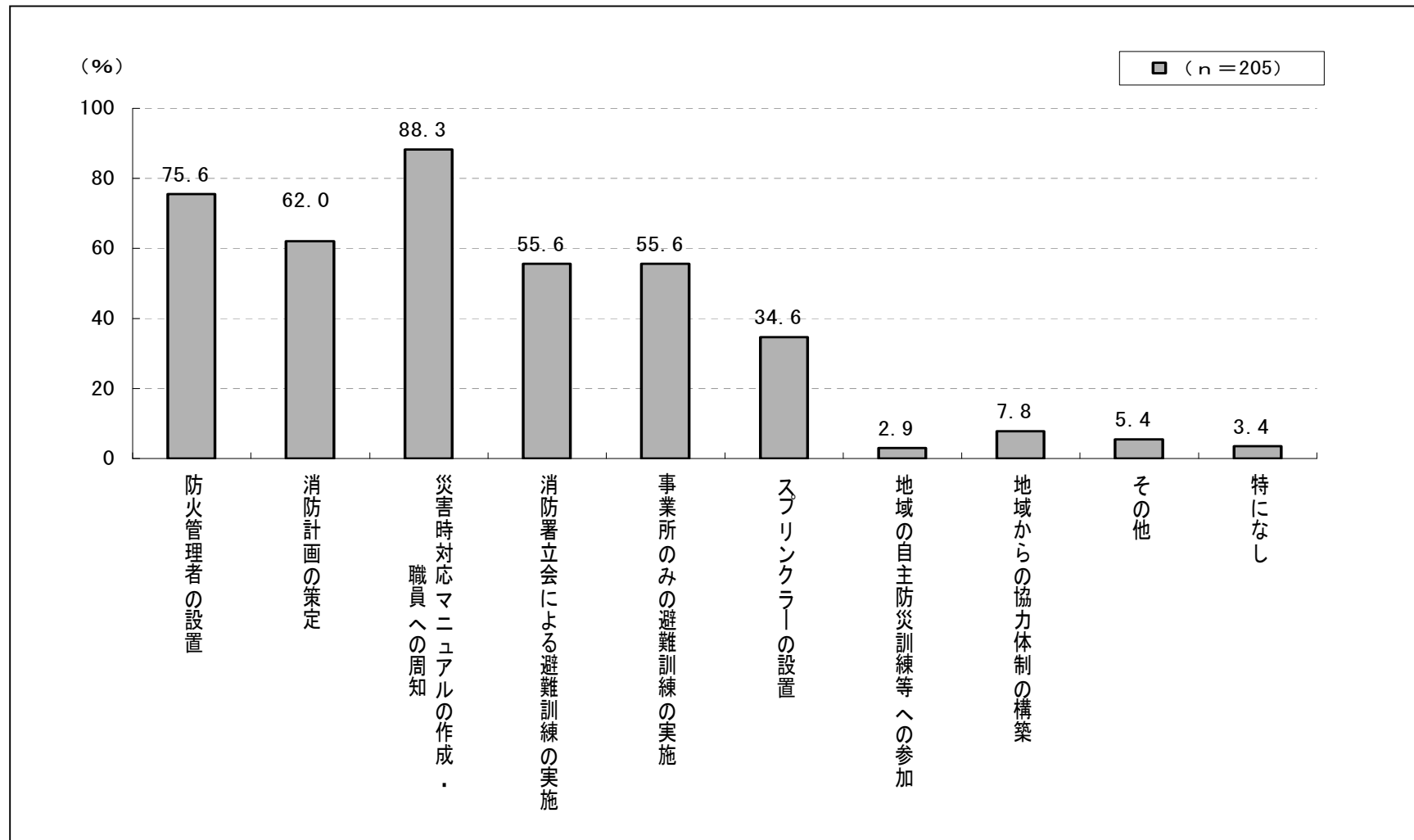
《課題》

◎介護従事者の安定的確保が、事業所運営の様々な面で課題。保険料負担に直結する介護報酬の抜本的見直しが見込めない中、従事者の確保支援を始め、資質向上のための研修支援や事業者間、従事者間の連携支援の充実。

1 1. 防災対策について

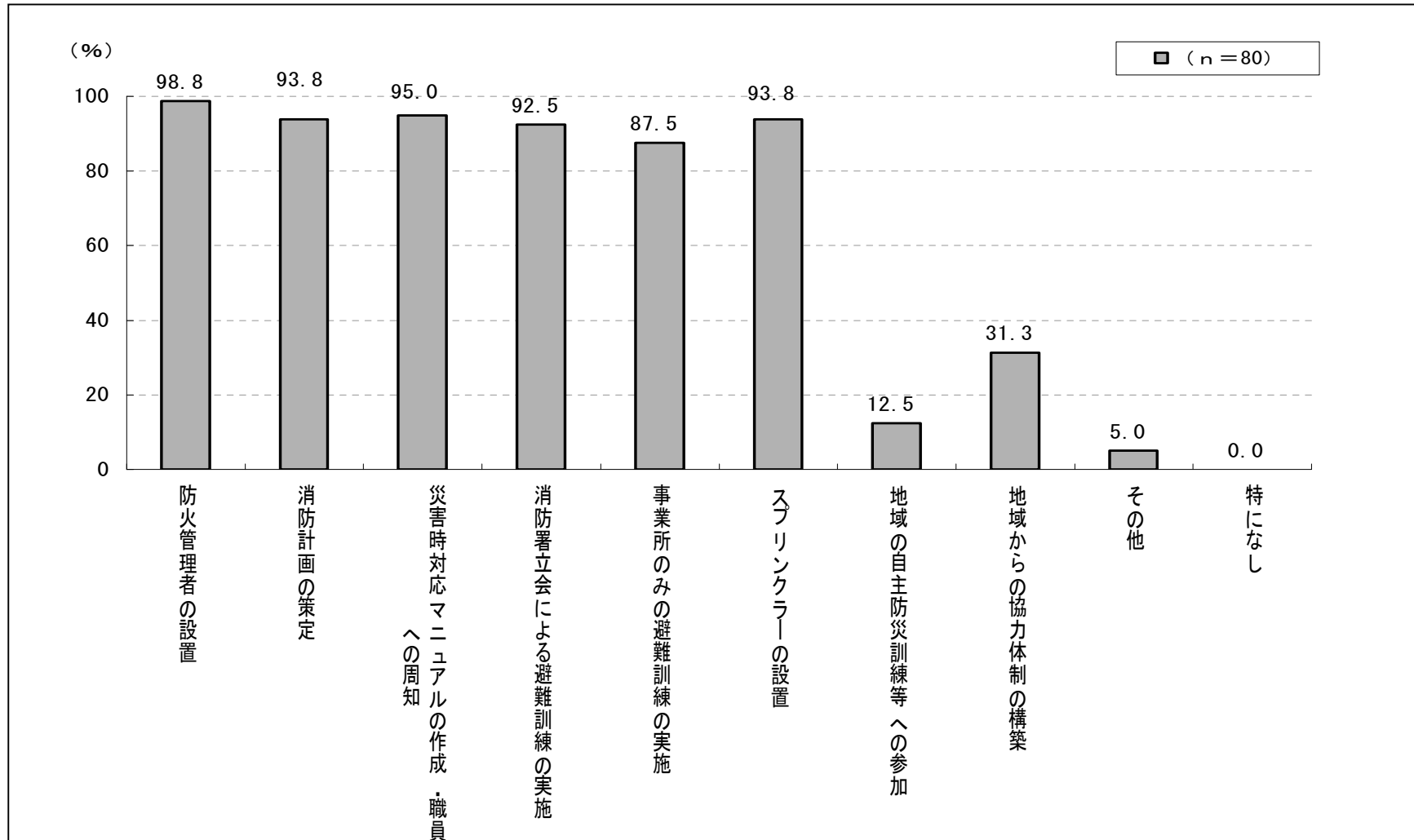
(1) 防火安全対策の実施状況（在宅系サービス）（事業所調査 P.54）

問 19 防火安全対策として行っているものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



(2) 防火安全対策の実施状況（施設系サービス）（事業所調査 P.123）

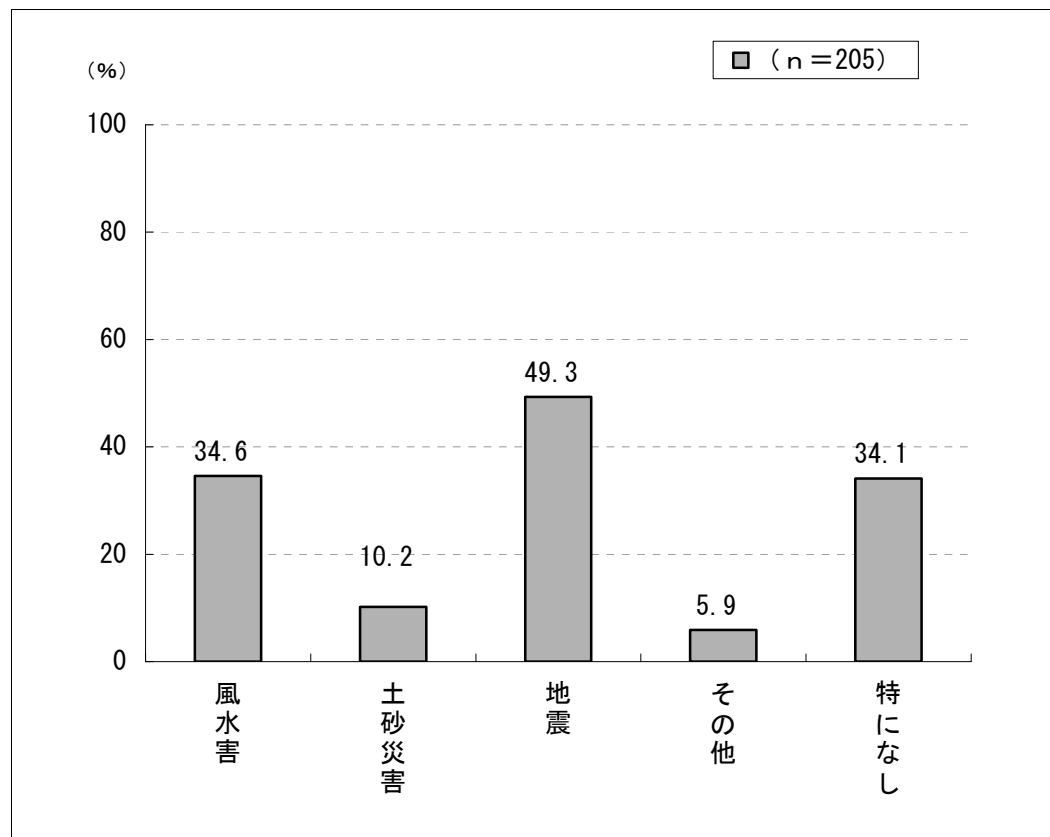
問 21 防火安全対策として行っているものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



(3) 火災以外の災害対策（在宅系サービス）（事業所調査 P. 57）

問 20 火災以外の災害で対策を講じているものを選んでください。

（あてはまるものすべてに○）



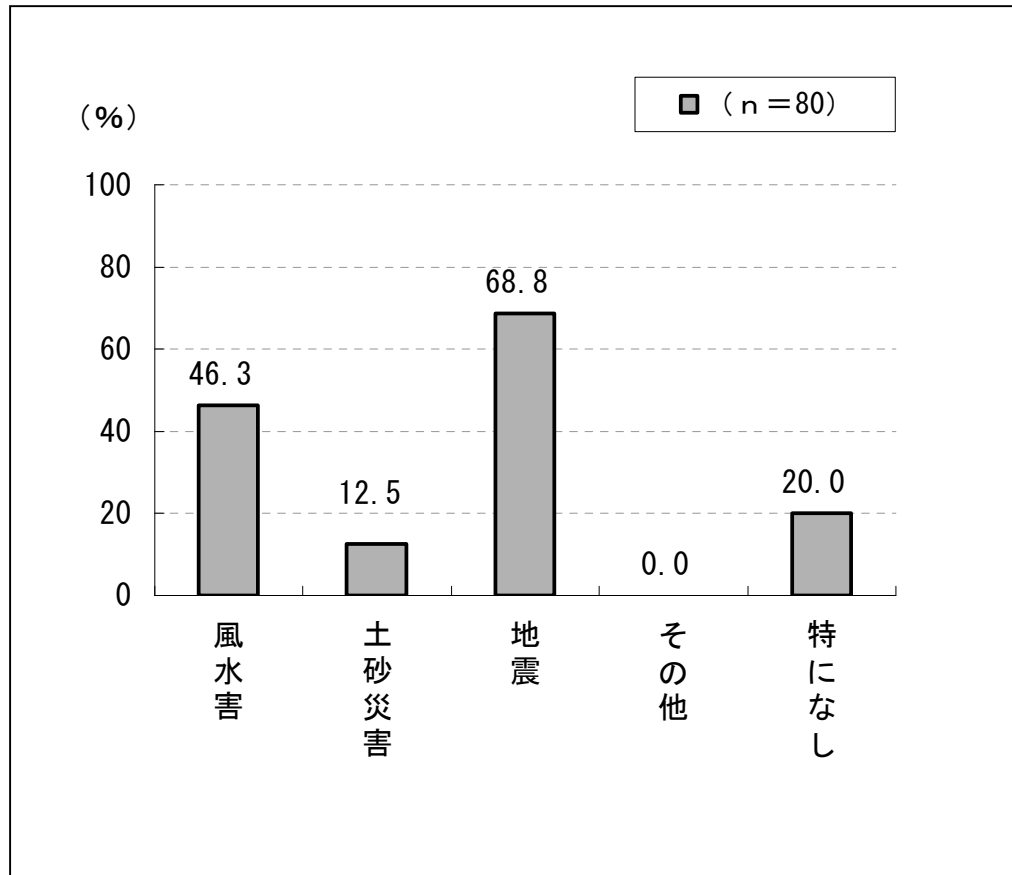
	実数 (件)	構成比 (%)
1. 風水害	71	34.6
2. 土砂災害	21	10.2
3. 地震	101	49.3
4. その他	12	5.9
5. 特になし	70	34.1
回答数	205	-

※複数回答

(4) 火災以外の災害対策（施設系サービス）（事業所調査 P.126）

問 22 火災以外の災害で対策を講じているものを選んでください。

（あてはまるものすべてに○）



	実数 (件)	構成比 (%)
1. 風水害	37	46.3
2. 土砂災害	10	12.5
3. 地震	55	68.8
4. その他	0	0.0
5. 特になし	16	20.0
回答数	80	-

※複数回答

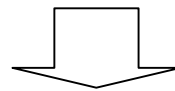
調査結果から見てくる現状と課題（防災対策について）

①防火安全対策の実施状況

- ・特に防火安全対策が重要な「施設系サービス事業所」においては、基本的な防火安全対策がなされている。

②火災以外の災害対策実施状況

- ・防火安全対策に比べると取り組みをしている事業所が少ない。



《課題》

- ◎防火対策に比べ、風水害・土砂災害・地震対策が不十分な状況にあるため、今後においては、事業所研修会等における防災意識の徹底や、実地指導・集団指導等の際に防災対策の点検・指導の強化が必要。